

ヤクルトの概況

2019年8月

株式会社ヤクルト本社
広報室

当社の企業理念と事業展開



人も地球も健康に
Yakult

コーポレートスローガンである『人も地球も健康に』は、これからも地球環境全体の健康を視野に入れ、全ての事業活動を通じて、「世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献する」という想いが込められています。

目 次

1. ヤクルトの歴史	1
2. ヤクルト本社の概要	4
3. ヤクルトグループの概要	13
4. プロバイオティクスと保健機能食品	16
5. 食品事業の概要	21
6. 国際事業の概要	27
7. 化粧品事業の概要	31
8. 医薬品事業の概要	33
9. 研究活動の概要	37
10. ヤクルトのCSR	41
11. お客さま相談センター	44

◎この資料でとくにことわりのないものは
2019年6月末日現在のものです。

ヤクルトの語源

ヤクルトは、エスペラント語でヨーグルトを意味するヤフルト（Jahurto）をもとにした造語です。乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」は当社の登録商標で乳酸菌飲料の一般名称ではありません。

エスペラント語は19世紀の末に、ザメンホフというポーランド人が世界共通語として作った言葉です。

1. ヤクルトの歴史

(1) ヤクルトのおいたち

ヤクルトの歴史は、創始者である医学博士・代田 稔（1899～1982）が、京都帝国大学医学部で微生物の研究中に強化培養することに成功した乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ・シロタ株）を、1935（昭和10）年に「ヤクルト」の商標で飲料として、福岡県福岡市で発売したことに始まります。「ヤクルト」は、腸内で有用な働きをする乳酸菌 シロタ株を毎日飲むことにより、人々のおなかの健康に役立ててもらふことを願って世に出されました。

戦後、「ヤクルト」を販売する販売会社組織は全国に拡大し、1955（昭和30）年にこれらの組織を統括する機関として、ヤクルト本社が設立されました。

1967（昭和42）年、京都府京都市から東京都国立市に研究拠点を移転し、研究開発体制の強化を図るとともに、はっ酵乳「ジョア」、清涼飲料といった商品の多様化と併せて、化粧品、医薬品事業へと経営の多角化を図ってきました。

海外への展開も積極的に行われ、現在28の事業所を中心に38の国と地域で販売されています。

(2) 会社の動き

年	会 社 の 動 き
1930（昭和 5）年	○代田 稔（当社元会長）が、京都帝国大学医学部微生物学教室において、乳酸菌の強化培養に成功（※現在の乳酸菌 シロタ株）
1935（昭和10）年	○福岡市において、「代田保護菌研究所」のもとに「ヤクルト」の製造・販売を開始
1940（昭和15）年	○販売専門の「代田保護菌普及会」が各地に誕生
1955（昭和30）年	○株式会社ヤクルト本社設立、東京で業務を開始 ○京都市に代田研究所設立（1967（昭和42）年に国立市に移転）
1961（昭和36）年	○全国を11地区に分け、それぞれの販売会社、瓶詰会社を組合員として、協同組合を設立
1963（昭和38）年	○婦人販売店システムの導入を開始（ヤクルトレディによるお届け）
1964（昭和39）年	○台湾ヤクルト(株)が営業開始（初の海外進出）
1967（昭和42）年	○研究拠点を国立市に移転（のちの中央研究所）
1968（昭和43）年	○プラスチック容器を導入 ○「サンケイアトムズ」（現 ㈱ヤクルト球団）の経営承継
1969（昭和44）年	○ヤクルト本社機構改革、全国の協同組合を解散、9支店を設置
1970（昭和45）年	○「ジョア」を発売
1971（昭和46）年	○化粧品分野に本格参入
1972（昭和47）年	○東京都港区東新橋に本社社屋完成（ヤクルトホール併設） ○ヤクルトレディによる「愛の訪問活動」を開始
1975（昭和50）年	○医薬品分野に本格参入 ○「ソフル」を発売
1978（昭和53）年	○「ミルミル」を発売 ○ヤクルトスワローズ（現 東京ヤクルトスワローズ）が初のリーグ制覇・初の日本一
1979（昭和54）年	○一般用医薬品「ヤクルト整腸薬」を発売
1980（昭和55）年	○東京証券取引所市場第二部へ株式上場 ○「タフマン」を発売
1981（昭和56）年	○東京証券取引所市場第一部へ株式上場
1984（昭和59）年	○第1回無担保転換社債を発行

年	会 社 の 動 き
1989 (平成元) 年	○基礎化粧品「リベシィS. E.」シリーズを発売
1990 (平成2) 年	○各支店に「お客さま相談センター」を開設 (フリーダイヤル導入)
1992 (平成4) 年	○財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団 (現 公益財団法人) を設立
1994 (平成6) 年	○化学療法抗がん剤「カンプト注」を発売 (2008 (平成20) 年7月に「カンプト点滴静注」に名称変更) ○「愛の訪問活動」に対し、ボランティア功労者として「厚生大臣表彰」を受賞
1995 (平成7) 年	○高級基礎化粧品「パラビオ」シリーズ (医薬部外品) を発売 ○「ヤクルトBL整腸薬」を発売
1998 (平成10) 年	○「ヤクルト」に特定保健用食品の表示 (許可を取得) ○「蕃爽麗茶」を発売 (2000 (平成12) 年に特定保健用食品の表示)
1999 (平成11) 年	○「ヤクルト400」を発売 (2001 (平成13) 年に特定保健用食品の表示)
2003 (平成15) 年	○「カンプト点滴静注」が「発明協会会長賞」を受賞 ○キリンビバレッジ(株)と自動販売機業務で提携
2004 (平成16) 年	○グループダノンと戦略提携契約を締結 ○「プレティオ」を発売
2005 (平成17) 年	○抗悪性腫瘍剤「エルプラット注射用100mg」を発売 ○1単元の株式数を1,000株から100株に変更 ○キリングroupと事業提携について合意 ○国際水泳連盟 (FINA) オフィシャルパートナーとして世界水泳選手権大会に協賛
2006 (平成18) 年	○化粧品事業のブランド名称を「Yakult Cosmetics」から「Yakult Beautiens」に変更
2007 (平成19) 年	○腸内フローラ解析システム「YIF-SCAN®」を開発
2008 (平成20) 年	○「BF-1」を発売 ○「ヤクルト400LT」を発売 ○「ヤクルト」が「2008年グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」(Gマーク)を受賞
2009 (平成21) 年	○「ヤクルトカロリーハーフ」を発売 ○美白基礎化粧品「リベシィホワイト」シリーズ (医薬部外品) を発売 ○抗悪性腫瘍剤「エルプラット」が結腸がんにおける術後補助化学療法に関する効能・効果、剤型 (水溶性製剤) 追加、用量用法 (XELOX療法) に関する承認を取得
2010 (平成22) 年	○「ミルミルS」を発売
2011 (平成23) 年	○ヤクルト容器の形状を立体商標登録 ○基礎化粧品「ラクトデュウ」シリーズを発売 ○執行役員制度を導入
2012 (平成24) 年	○女性向け食品ブランド「三つ星Factory」が誕生 第1弾商品「CHOBI」を発売 ○宇宙を舞台にした活動 (YAKULT SPACE DISCOVERY) に着手 ○「パラビオ AC クリーム サイ」を発売 ○「乳酸菌 シロタ株」が米国・食品医薬品局 (FDA) よりGRAS認証を取得
2013 (平成25) 年	○ダノンとの戦略提携契約を終了 ○「Newヤクルト」「Newヤクルトカロリーハーフ」を発売
2014 (平成26) 年	○国際宇宙ステーション (ISS) を利用した共同研究を開始
2015 (平成27) 年	○ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社とディズニーキャラクターデザインの使用に関するライセンス契約を締結 ○「プラチナケア S. E. ローション」を発売

※各海外事業所の営業開始年月は27ページ、28ページ参照

年	会 社 の 動 き
2016（平成28）年	○新たなヤクルト中央研究所が完成
2017（平成29）年	○初の公式キャラクター「ヤクルトマン」誕生 ○「シンバイオティクス ヤクルト W」を発売
2018（平成30）年	○「第2回日本サービス大賞」において「ヤクルトレディによる宅配サービス」が「経済産業大臣賞」を受賞 ○ネイチャー・リサーチとパートナーシップ契約を締結 ○2018ヤクルト世界大会を開催 ○「ワールド・ブランディング・アワーズ」において「Yakult」が「ブランド・オブ・ザ・イヤー」を2年連続で受賞 ○第2回「ジャパンSDGsアワード」にて特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞
2019（令和元）年	○「ヤクルトファイブ」を発売 ○「健康経営優良法人～ホワイト500～」に2年連続で認定

2. ヤクルト本社の概要

- (1) 設 立 1955 (昭和30) 年4月9日
- (2) 名 称 株式会社ヤクルト本社
- (3) 本店所在地 〒105-8660 東京都港区東新橋1丁目1番19号
☎ 03(3574)8960 ^{ヤクルト}〈大代表〉
- (4) 資 本 金 31,117,654,815円
- (5) 代表取締役社長 根岸 孝成
- (6) 事業内容 食品、化粧品、医薬品などの製造・販売、その他
- (7) 事業所 研究所(1)、支店(5)、工場(7)、医薬支店(10)、
物流センター(13)

研究所名	所 長	所 在 地	電 話 番 号
中央研究所	石 川 文 保	〒186-8650 東京都国立市泉5-11	042 (577) 8960

支 店 名	支 店 長	所 在 地	電 話 番 号
北海道支店	松 園 直 史	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西6-10-10 大通公園ビル6階	011 (231) 8960
東日本支店	大 関 康 男	〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-7 日比谷U-1ビル1階	03 (5962) 8960
仙台営業所		〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-6-35 東京建物仙台ビル6階	022 (713) 8960
首都圏支店	相 馬 武 彦	〒104-0061 東京都中央区銀座6-18-2 野村不動産銀座ビル10階	03 (5148) 8960
中日本支店	阿 部 泰 久	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA16階	06 (6341) 8960
西日本支店	山 本 良 樹	〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル北館4階	092 (711) 8960

◎本社工場

工場名	工場長	所在地・電話番号	生産品目	取得時期		
				HACCP	ISO 9001	ISO 14001
福島工場	増井 数馬	〒960-8520 福島県福島市黒岩字遠沖10-1 024 (546) 8960	Newヤクルト原料液 Newヤクルトカロリーハーフ原料液 ヤクルト400原料液 ソフール ミルミル ミルミルス	○ 1998.1	○ 2011.10	○ 2002.5
茨城工場	太江田和年	〒306-0314 茨城県猿島郡五霞町大字川妻1232-2 0280 (84) 2121	Newヤクルトカロリーハーフ原料液 ヤクルト400LT原料液 ヤクルトファイブ原料液 毎日飲むヤクルト シンバイオティクスヤクルト W	○ 1998.1	○ 2011.10	○ 2002.8
湘南化粧品工場	武藤 大介	〒251-0021 神奈川県藤沢市鵠沼神明2-5-10 0466 (25) 8960	化粧品			○ 2002.7
富士裾野工場	岡本 武	〒410-1105 静岡県裾野市下和田字十三郎653-1 055 (997) 3311	ヤクルト400原料液 ヤクルト400LT原料液 ジョア ジョア (食べるタイプ) ソフール プレティオ	○ 1998.1	○ 1997.3	○ 2000.10
富士裾野医薬品工場	大桃 英志	〒410-1105 静岡県裾野市下和田字十三郎653-1 055 (997) 4417	医薬部外品 医療用医薬品・原薬			○ 2003.1
兵庫三木工場	豊田 克彦	〒673-0514 兵庫県三木市志染町戸田字中尾1838-266 0794 (89) 8960	Newヤクルト原料液 ヤクルト400LT原料液 ソフール ミルミル BF-1	○ 2013.12	○ 2013.11	○ 2014.12
佐賀工場	清水 義和	〒842-0002 佐賀県神埼市神埼町田道ヶ里2300 0952 (52) 8960	Newヤクルト原料液 Newヤクルトカロリーハーフ原料液 ヤクルト400原料液 ヤクルト400LT原料液 ジョア ミルミルス	○ 1998.1	○ 2011.10	○ 2001.12

◎ ボトリング会社

社名	代表取締役社長	所在地・電話番号	生産品目	取得時期		
				HACCP	ISO 9001	ISO 14001
(株)岩手ヤクルト工場	有川 敏治	〒024-0051 岩手県北上市相去町大松沢1-45 0197 (71) 2828	Newヤクルト Newヤクルトカロリー-half ヤクルト400 ヤクルト400LT ヤクルトファイブ	○ 2008.3	○ 2012.9	○ 2004.9
(株)千葉ヤクルト工場	清野 博	〒284-0035 千葉県四街道市和田166 043 (432) 8960	Newヤクルトカロリー-half ヤクルト400LT	○ 1998.6	○ 2012.9	○ 2003.7
(株)愛知ヤクルト工場	藤ノ木正仁	〒470-0112 愛知県日進市藤枝町前田5 0561 (73) 8960	Newヤクルト ヤクルト400 ヤクルト400LT	○ 2009.6	○ 2012.9	○ 2004.3
(株)岡山和気ヤクルト工場	三好 弘祐	〒709-0464 岡山県和気郡和気町田原下字高柳269 0869 (92) 5400	Newヤクルト ヤクルト400LT	○ 2015.12	○ 2015.9	○ 2016.12
(株)福岡ヤクルト工場	西川 満	〒818-0067 福岡県筑紫野市大字俗明院1-1 092 (925) 8960	Newヤクルト Newヤクルトカロリー-half ヤクルト400 ヤクルト400LT	○ 1998.6	○ 2012.9	○ 2004.3

※その他の関連会社は15ページを参照

[国内・海外の取得認証マーク] (2019年3月末現在)

HACCP : Hazard Analysis Critical Control Point (危害分析・重要管理点)

- ・生産工程ごとに有害微生物や異物混入等の危害を特定・分析し、その防止に必要な管理項目を設定し、監視・記録する。
- ・従来の最終製品の検査に重点をおいた衛生管理と異なり、製造工程全体の衛生管理を徹底することで品質を保証することが特徴。
- ・日本国内5本社工場、5ボトリング会社および14海外事業所（香港、タイ、韓国、シンガポール、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インド、広州、上海、無錫、ブラジル、メキシコ、アメリカ）で取得。

ISO : International Organization for Standardization (国際標準化機構)

- ・1947年に設立された世界共通の規格・基準などを制定する国際機関。

ISO 9001 (品質マネジメントシステムの国際規格)

- ・全業務の仕組み・手順を品質規格に適合するよう文書化し、それに基づいた結果を確実に記録していくシステム。
- ・日本国内5本社工場、5ボトリング会社、2関連子会社、19販売会社および9海外事業所（香港、シンガポール、オーストラリア、インド、広州、上海、無錫、ヨーロッパ、イギリス）で取得。

ISO 14001 (環境マネジメントシステムの国際規格)

- ・企業等が自主的に“環境にやさしい行動”を進めるための方針や目標を設定して、その達成と継続的改善に向けて取り組んでいくシステム。
- ・日本国内7本社工場、5ボトリング会社、中央研究所分析試験研究所（分析第三研究室）、4関連子会社、17販売会社および4海外事業所（ベトナム、広州、ヨーロッパ、イギリス）で取得。

ISO 22000 (食品安全マネジメントシステムの国際規格)

- ・HACCPの衛生管理手法をもとに、食品の製造・加工・調理などの過程における食品の安全性を確実にものにし、その保証を可能にするシステム。
- ・日本国内1販売会社および6海外事業所（台湾、香港、インドネシア、ベトナム、天津、ブラジル）で取得。

FSSC 22000 : Food Safety System Certification (食品安全性システム認証)

- ・ISO22000と食品製造に関する一般的衛生管理の基準である「食品製造における食品安全のための前提条件プログラム」を組み合わせたシステム。
- ・日本国内2関連子会社および2海外事業所（メキシコ、ヨーロッパ）で取得。

GMP : Good Manufacturing Practice (適正製造規範)

- ・医薬品、食品等の製造管理、品質管理の国際規範。
- ・7海外事業所（台湾、タイ、韓国、フィリピン、広州、メキシコ、ブラジル）で取得。
- ※台湾では、GMPに準ずるものとして台湾国内の認証制度TQFを取得。

SQF : Safe Quality Food (安全で高品質な食品)

- ・食品の安全と品質を確保するための国際的なマネジメントシステム。
- ・2海外事業所（台湾、アメリカ）で取得。

※海外工場の概要は30ページを参照

◎医薬支店

支店名	所在地	電話番号
医薬札幌支店	〒062-0020 北海道札幌市豊平区月寒中央通7-6-20 (J A 月寒中央ビル6階)	011 (856) 8815
医薬仙台支店	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2-16-10 (メットライフ仙台本町ビル4階)	022 (268) 8960
医薬東京第一支店	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-18-12 (日土地人形町ビル2階)	03 (3664) 8960
医薬東京第二支店	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-2 (GINZA YAMATO3 5階)	048 (650) 2181
医薬横浜支店	〒220-6210 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-5 (クイーンズタワーC10階)	045 (640) 6330
医薬名古屋支店	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-17-6 (ナカトウ丸の内ビル5階)	052 (950) 3801
医薬京都支店	〒600-8023 京都府京都市下京区河原町通松原上ル2丁目富永町338 (京阪四条河原町ビル8階)	075 (353) 5077
医薬大阪支店	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-16-10 (大阪岡本ビル7階)	06 (6264) 2100
医薬広島支店	〒732-0827 広島県広島市南区稲荷町2-14 (和光稲荷町ビル9階)	082 (568) 1161
医薬福岡支店	〒815-0033 福岡県福岡市南区大橋2-1-1 (大橋花村ビル2階)	092 (541) 4407

◎物流センター

センター名	所在地	電話番号
札幌物流センター	〒003-0030 北海道札幌市白石区流通センター7-5-1	011 (801) 8960
岩手物流センター	〒024-0051 岩手県北上市相去町大松沢1-45	0197 (81) 5333
福島物流センター	〒960-8520 福島県福島市黒岩字遠沖10-1	024 (546) 8907
館林物流センター	〒374-0071 群馬県館林市下早川田町110-8	0276 (60) 5621
千葉物流センター	〒275-0023 千葉県習志野市芝園2-6-6	047 (408) 2061
東京物流センター	〒192-0032 東京都八王子市石川町2969-3	042 (648) 8960
化粧品物流センター	〒257-0015 神奈川県秦野市平沢397-1	0463 (85) 0335
裾野物流センター	〒410-1105 静岡県裾野市下和田字十三郎653-1	055 (997) 1456
愛知物流センター	〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字高添99-1	0568 (39) 2278
大阪物流センター	〒567-0062 大阪府茨木市東福井4-23-1	072 (643) 6700
岡山物流センター	〒704-8126 岡山県岡山市東区西大寺浜460	086 (942) 8961
山口物流センター	〒753-0212 山口県山口市下小鯖内山992-21	083 (927) 0147
福岡物流センター	〒811-2104 福岡県糟屋郡宇美町大字井野433-1	092 (933) 8960

(8) 主要取引銀行 みずほ銀行、りそな銀行、三菱UFJ銀行

(9) 従業員の状況

(2019年3月末日現在)

区分	従業員数	平均年齢	平均勤続年数
男性	2,174名	43歳2か月	19年6か月
女性	702名	38歳10か月	14年4か月
計	2,876名	42歳2か月	18年3か月

※上記従業員数には、出向者302人、嘱託132人を含みます。

(10) 経営体制

相談役名誉会長	堀 澄 也	
---------	-------	--

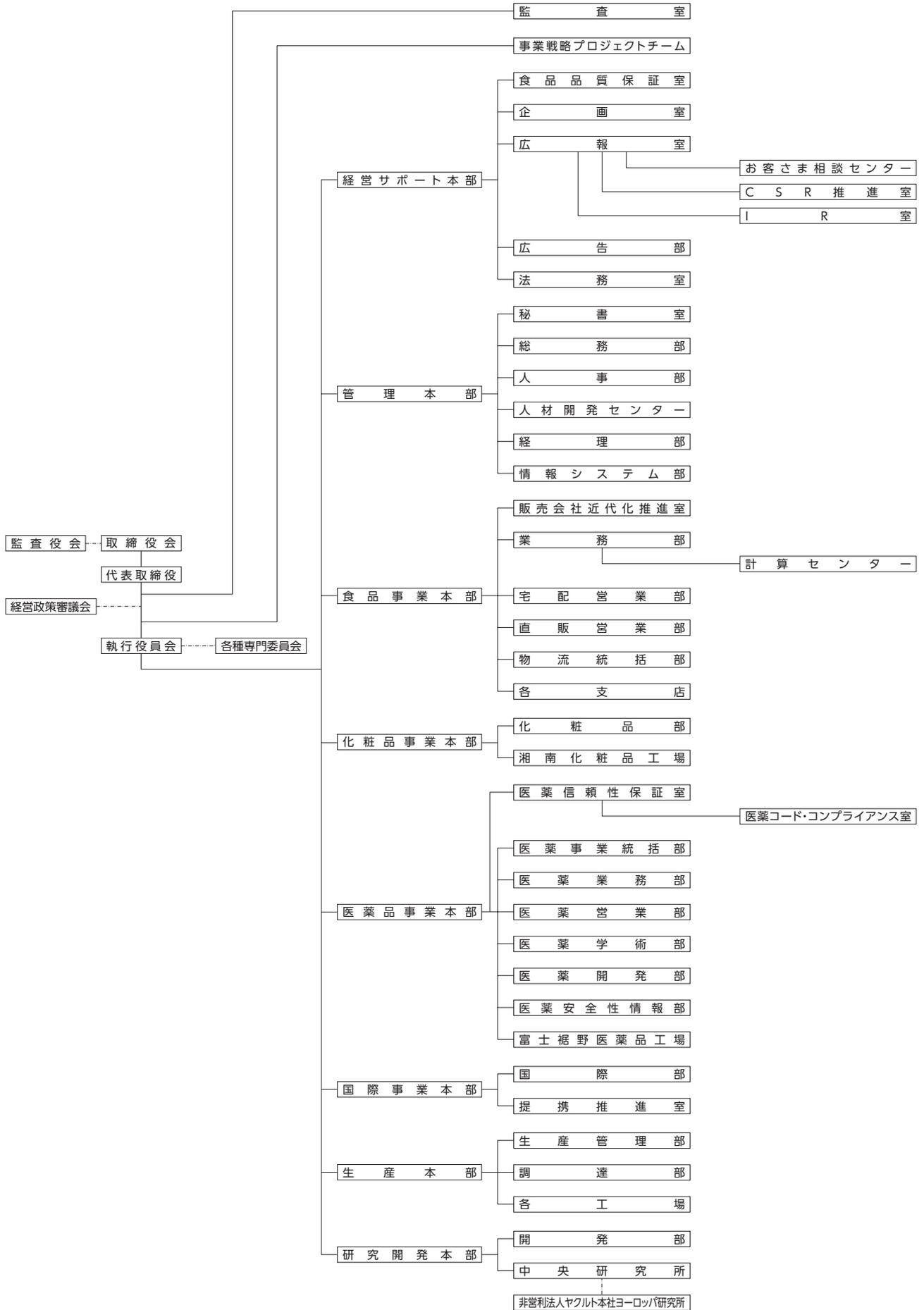
【取締役・監査役】

役 職 名	氏 名	他の主な法人等の代表状況等
代表取締役社長	根 岸 孝 成	
取 締 役	成 田 裕	
〃	若 林 宏	
〃	石 川 文 保	
〃	伊 藤 正 徳	
〃	土 井 明 文	
〃	林 田 哲 哉	
〃	平 野 晋	
〃	今 田 正 男	
取締役(非常勤)	リチャード ホール	(ダノン エス・エー)
〃	安 田 隆 二	[社外取締役] (一橋大学大学院経営管理研究科特任教授)
〃	福 岡 政 行	[社外取締役] (白鷗大学名誉教授)
〃	前 田 典 人	[社外取締役] (神奈川東部ヤクルト販売(株)代表取締役社長)
〃	パスカルイヴドベトリーニ	[社外取締役] (ダノン・アジア シニアヴァイスプレジデント 兼非業務執行チェアマン)
〃	戸 部 直 子	[社外取締役] (弁護士)
常 勤 監 査 役	阿 部 晃 範	
〃	山 上 博 資	
監 査 役	奥 平 哲 彦	[社外監査役] (弁護士)
〃	谷 川 清 十 郎	[社外監査役] (神戸ヤクルト販売(株)代表取締役社長)
〃	小 林 節 子	[社外監査役] (上越ヤクルト販売(株)代表取締役会長)
〃	吉 田 宏 一	[社外監査役] (石巻ヤクルト販売(株)代表取締役会長)
〃	手 塚 仙 夫	[社外監査役] (公認会計士)

【執行役員】

役職名	氏名	管 掌
社長執行役員	根 岸 孝 成	
専務執行役員	成 田 裕	国際事業本部長（国際部・提携推進室） 経営サポート本部長（食品品質保証室・企画室・広報室・広告部・法務室） 事業戦略プロジェクトチーム
〃	若 林 宏	管理本部長（秘書室・総務部・人事部・人材開発センター・経理部・ 情報システム部）
〃	石 川 文 保	研究開発本部長（開発部・中央研究所・ヨーロッパ研究所） 中央研究所長
常務執行役員	伊 藤 正 徳	医薬品事業本部長（医薬業務部・医薬営業部・医薬学部・医薬開発部・ 医薬安全性情報部・医薬事業統括部・ 医薬信頼性保証室・富士裾野医薬品工場）
〃	土 井 明 文	生産本部長（生産管理部・調達部・各工場）
〃	林 田 哲 哉	食品事業本部長（販売会社近代化推進室・業務部・宅配営業部・直販営業部・ 物流統括部・各支店） 化粧品事業本部長（化粧品部・湘南化粧品工場）
〃	平 野 晋	国際部（中国ヤクルト株式会社）
〃	今 田 正 男	広報室・広告部・食品品質保証室
〃	平 野 宏 一	開発部・広報室（学術担当）
〃	南 野 昌 信	中央研究所副所長、ヨーロッパ研究所・広報室（学術担当）
〃	柳 良 昌 利	業務部・宅配営業部・化粧品部・湘南化粧品工場
〃	星 子 秀 章	法務室・人事部・人材開発センター
執行役員	鈴 木 康 之	生産管理部・調達部
〃	里 見 昌 彦	医薬営業部・医薬開発部・医薬事業統括部
〃	渡 辺 秀 一	経理部・情報システム部
〃	岸 本 明	直販営業部・物流統括部
〃	後 藤 隆 夫	秘書室
〃	川 畑 裕 之	総務部・企画室・事業戦略プロジェクトチーム
〃	島 田 淳 一	国際部
〃	後 藤 善 宏	開発部
〃	長 岡 正 人	中央研究所

(11) 組織



ヤクルトの歴史

ヤクルト本社の概要

ヤクルトグループの概要

プロバイオティクスと保健機能食品

食品事業の概要

国際事業の概要

化粧品事業の概要

医薬品事業の概要

研究活動の概要

ヤクルトのCSR

お客さま相談センター

(12) 業 績

①業績の推移

決算年月(連結)	2018年3月期	2019年3月期
売上高(百万円)	401,569	407,017
営業利益(百万円)	43,463	45,846
経常利益(百万円)	53,054	57,121
当期純利益(百万円)	34,064	34,935
1株当たり当期純利益(円)	207.02	217.89

決算年月(単体)	2018年3月期	2019年3月期
売上高(百万円)	177,535	179,430
営業利益(百万円)	2,215	1,632
経常利益(百万円)	15,151	17,323
当期純利益(百万円)	13,908	14,342
1株当たり当期純利益(円)	84.53	89.37
1株当たり配当金(円)	34.00	44.00

②品目別販売金額・比率

(単位：百万円)

	2018年3月期			2019年3月期		
	金額	構成比(%)	前年比(%)	金額	構成比(%)	前年比(%)
乳製品	89,803	50.6	103.7	89,117	49.7	99.2
清涼飲料等	28,969	16.3	98.0	28,290	15.8	97.7
化粧品	6,477	3.6	101.9	6,707	3.7	103.6
医薬品	25,661	14.5	92.2	21,696	12.1	84.5
その他	26,623	15.0	114.3	33,619	18.7	126.3
合計	177,535	100	102.2	179,430	100	101.1

③国内乳製品 売上数量内訳(1日当たり本数)

(単位：千本)

	2018年3月期		2019年3月期	
	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)
Newヤクルト (Newヤクルトカロリーーフ含む)	4,044	108.2	4,041	99.9
ヤクルト400類	3,555	102.4	3,465	97.5
その他ヤクルト類 ^{*1}	194	87.1	157	81.3
ヤクルト類計	7,792	104.8	7,664	98.3
ジョア類	857	99.5	789	92.1
ミルミル類	396	99.7	460	116.0
ソファール類	463	96.8	461	99.4
はっ酵乳計	1,716	98.8	1,709	99.6
その他 ^{*2}	185	94.3	170	91.9
合計	9,694	103.5	9,543	98.4

※1：「その他ヤクルト類」：ヤクルトAce(2019.3終売)、ヤクルトゴールド(2018.3終売)、ヤクルトファイブ(2019.3販売開始)、毎日飲むヤクルト、シンバイオティクスヤクルトW(2017.10販売開始)を合算

※2：「その他」：BF-1、プレティオ、乳酸菌ソイα(2017.9終売)、カップdeヤクルト、ヤクルトのはっ酵豆乳(2017.10販売開始)を合算

④清涼飲料 主要品目売上数量内訳

(単位：千本)

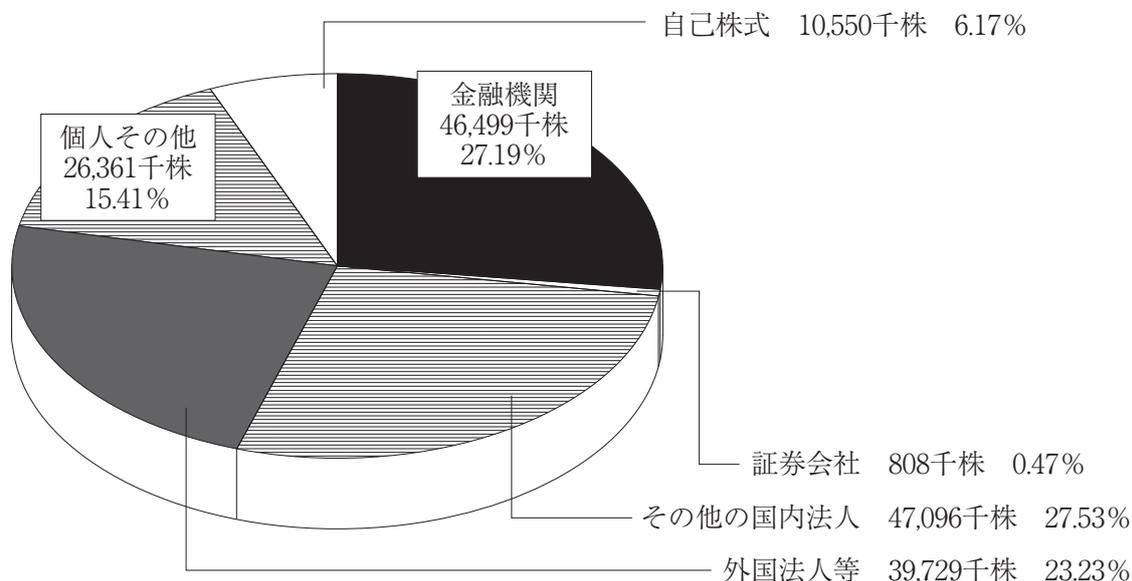
	2018年3月期		2019年3月期	
	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)
蕃爽麗茶	17,727	91.8	16,296	91.9
タフマン類	40,049	93.1	40,772	101.8
黒酢ドリンク	27,056	97.8	29,422	108.7
豆乳	38,659	96.9	37,568	97.2
ミルージュ	25,318	96.3	23,256	91.9
ジュース類	44,737	94.4	39,957	89.3
きになる野菜	38,326	100.4	36,316	94.8
珈琲たいむ	16,998	90.3	15,698	92.4
FIRE	62,958	89.2	58,635	93.1

※海外事業所の1日平均販売本数は27ページ、28ページ参照

(13) 株式の状況

(2019年3月末日現在)

- ①発行済株式総数 171,045,418株
- ②上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
- ③株 主 数 24,082名
- ④株式所有状況



⑤大株主

氏名または名称	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
ダノン プロバイオティクス プライベート リミテッド	10,612	6.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,063	4.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,707	4.51
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.80
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.90
共進会	3,946	2.31
松尚株式会社	3,417	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	2,917	1.71
麒麟ビバレッジ株式会社	2,458	1.44
株式会社みずほ銀行	2,186	1.28

※上記のほか、当社所有の自己株式10,550千株 (6.17%) があります。

3. ヤクルトグループの概要

ヤクルト本社を中心としたヤクルトグループは、日本国内においては、ヤクルト商品の販売を行う販売会社103社、ヤクルトの原料液を製品としてボトリングする子会社工場5社、その他の関係会社等を含め約140社で構成されています。(海外を含めると約170社)

また、ヤクルトをはじめとする乳製品は、国内・海外あわせて毎日4,000万本^{*}が販売されています。
(※2018年度実績)

(1) 販売会社数および従事者数

国内販売会社103社の社員およびヤクルトレディ(YL)、ヤクルトビューティ(YB)の人数は次のとおりで、約52,300人になります。

※2019年3月末日現在

エ リ ア	販売会社数	従事者数 [*]		
		販売会社社員	ヤクルトレディ(YL)	ヤクルトビューティ(YB)
北海道	9	434	1,783	840
東日本	29	3,178	8,207	585
首都圏	16	3,897	7,659	683
中日本	19	3,552	8,391	972
西日本	30	2,795	7,808	1,518
計	103	13,856	33,848	4,598

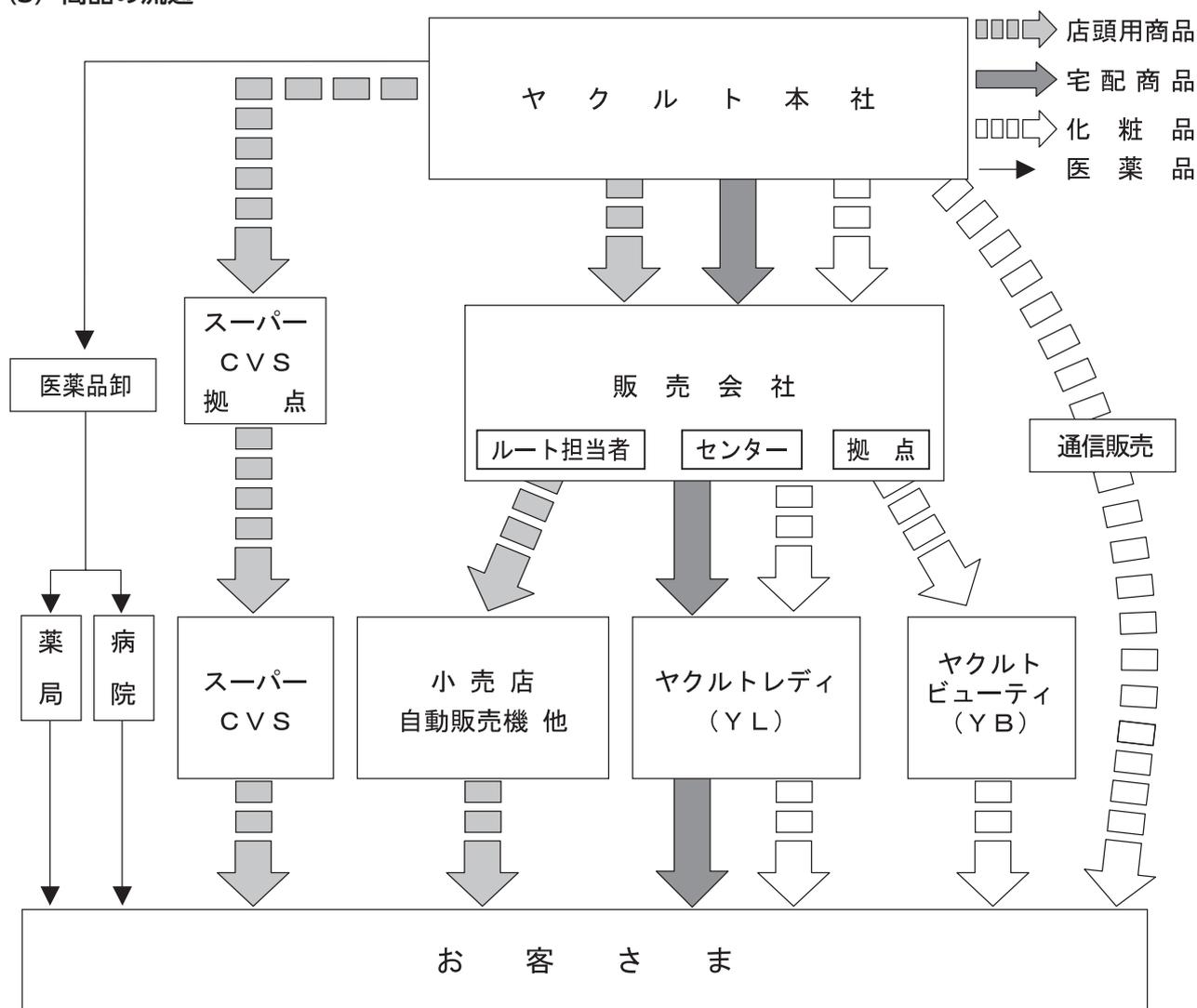
(2) 自販機台数

(単位：台)

	2018年3月末		2019年3月末	
	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)
自販機台数	48,580 (20,031)	96.2	46,317 (20,056)	95.3

※ () 内はヤクルト機以外の自販機への納入台数

(3) 商品の流通



◇ヤクルトレディ (YL)

ヤクルト400類を中心として食品および化粧品などをお客さまへお届けしています。ヤクルトレディは、1963年から採用したヤクルト独自の宅配システムで、ほとんどが家庭の主婦であり、その多くが独立した事業主です。食品衛生や商品の基礎知識について十分な研修を受け、お届け・販売をしています。

センターは、商品のストックヤード、ヤクルトレディの情報共有の場として設けられた販売会社の出先機関です。地域における「ヤクルトの顔」として、お客さまの重要な接点となっており、全国で2,446か所（2019年3月末日現在）あります。

また、子育て中のヤクルトレディが安心して仕事ができる環境づくりの一環として、販売会社により、1,114か所（2019年3月末日現在）の保育所が運営されています。

◇ルート担当者

小売店、自動販売機などにルートセールスによって販売しています。

◇ヤクルトビューティ (YB)

化粧品の訪問販売のほか、ホームエステなどを行っています。通称YBと呼ばれ、美容、化粧品の専門知識を身につけた女性です。

拠点は、商品のストックヤード、YBの情報共有の場として設けられた販売会社の化粧品営業所です。エステティックサロンが併設されているところもあります。

(4) 主要関連会社および団体等

	数	主要会社名
連結子会社	76	東京ヤクルト販売(株)、(株)岡山和気ヤクルト工場、ヤクルト商事(株)、(株)ヤクルトマテリアル、ヤクルトヘルスフーズ(株)、(株)ヤクルト球団、メキシコヤクルト(株)
関連会社	20 (うち持分法適用会社数4社)	韓国ヤクルト(株)

社名	代表取締役社長	資本金(百万円)	設立	所在地	事業内容
(株)ヤクルト球団(東京ヤクルトスワローズ)	衣笠剛	495	1950年5月(昭和25年) 1968年12月(昭和43年) 経営継承	東京都港区	プロ野球の興行
ヤクルト商事(株)	村上光男	30	1964年11月(昭和39年)	東京都港区	乳製品等の販売用資機材の販売
(株)ヤクルト・マネジメント・サービス	小神野未知一	30	1985年4月(昭和60年)	東京都中央区	ビル管理業等(建物総合管理、レストラン経営)
(株)ヤクルトマテリアル	椎野健一	50	1960年7月(昭和35年)	東京都中央区	香料等の製造・販売
ヤクルト食品工業(株)	田籠恵	90	1972年10月(昭和47年)	佐賀県神埼市	めん類の製造・販売
ヤクルトロジスティクス(株)	中村博英	10	1969年10月(昭和44年)	東京都八王子市	乳製品等の輸送
ヤクルト薬品工業(株)	平野宏一	50	1986年7月(昭和61年)	東京都国立市	医薬品・酵素・試薬等の販売
(株)ヤクルトライフサービス	若林宏	30	1972年7月(昭和47年)	東京都中央区	保険代理店、その他
ヤクルトヘルスフーズ(株)	蝦名秀昭	99	2006年8月(平成18年)	大分県豊後高田市	保健機能食品、健康補助食品等の製造・販売

団体等	理事長	設立	所在地	事業内容
一般社団法人ヤクルト同仁協会	田中正喜	1958年1月(昭和33年)	東京都中央区	離職金共済事業および加入各社災害補償制度の保険代理業
ヤクルト健康保険組合	田中良明	1970年11月(昭和45年)	東京都中央区	国の行う健康保険事業の代行
ヤクルト企業年金基金	田中良明	1975年5月(昭和50年)	東京都港区	企業年金
公益財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団	澤田治司	1992年2月(平成4年)	東京都中央区	腸内フローラを主体としたバイオサイエンスに関する研究・助成等

※ボトリング会社は6ページを参照

4. プロバイオティクスと保健機能食品

(1) プロバイオティクスの考え方

近年、日本や欧米を中心に、人の腸でよい働きをする乳酸菌やビフィズス菌などの微生物を「プロバイオティクス」として健康維持・増進に役立てようという考えが注目を集めています。プロバイオティクスは、抗生物質（アンチバイオティクス）に対比される言葉で、「共生」を意味するプロバイオシスを語源としています。

このプロバイオティクスの概念は、ヤクルトの創始者・代田 稔が20世紀初頭から提唱していた「予防医学」「健腸長寿」の考え方そのものです。

【プロバイオティクスの定義】

1989年にヨーロッパの研究者が提唱した「腸内フローラのバランスを改善することで人に有益な作用をもたらす、生きた微生物」が広く受け入れられてきました。その後、国際的に議論され、現在では「十分量を摂取したときに宿主に有益な効果を与える生きた微生物」(FAO/WHO[※])と定義されています。このような微生物を含む食品（乳酸菌飲料など）をプロバイオティクスと呼ぶこともあります。

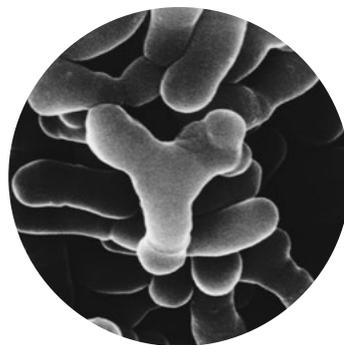
※FAO：国際連合食糧農業機関 WHO：世界保健機関

(2) ヤクルトのプロバイオティクス

乳酸菌 シロタ株やビフィズス菌 B Y株は、ヤクルト中央研究所での各種安全性試験や長年の飲用経験に裏打ちされた安全な菌で、胃液などの消化液に負けずに生きたまま腸にとどき、確かな効果を発揮する代表的なプロバイオティクスです。また、B. ビフィダム Y株は、胃ではたらくプロバイオティクスです。



乳酸菌 シロタ株
(主に小腸ではたらく)



ビフィズス菌 B Y株
(主に大腸ではたらく)

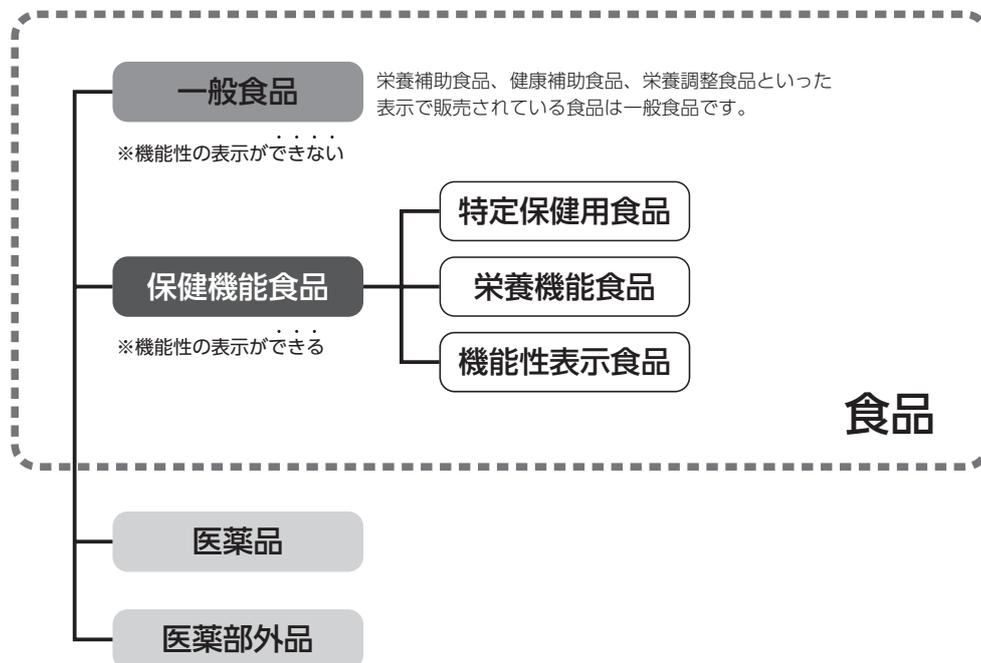


B. ビフィダム Y株
(胃ではたらく)

(3) 保健機能食品制度

保健機能食品制度とは、健康食品のうち、国が安全性や有効性等について一定の条件を満たした食品を「保健機能食品」として表示し、販売することを認めるために創設された制度で、現在は食品の目的や機能等の違いにより、図のように「特定保健用食品」「栄養機能食品」「機能性表示食品」の三つのジャンルに分けられます。

(名称および分類)



① 特定保健用食品

『特定保健用食品』は、「健康に関わる効果」を食品に具体的に表示することを国が認めた、世界で初めての画期的な制度です。

健康の維持増進に役立つことが科学的根拠に基づいて認められ、機能性の表示が許可されています。効果や安全性について、国が個別に審査し表示を許可しています。

② 栄養機能食品

「栄養機能食品」は消費者庁長官が定めた栄養成分量の規格基準に適合していれば、個別の許可申請や届出等を行うことなく、その栄養成分の機能を容器に表示することができる食品です。

「栄養機能食品」として栄養成分の機能を表示できる食品は、次のミネラル類6種類とビタミン類13種類およびn-3系脂肪酸のいずれかについて、「栄養機能食品」の規格基準に適合したものです。

ミネラル類	亜鉛、カルシウム、鉄、銅、マグネシウム、カリウム
ビタミン類	ナイアシン、パントテン酸、ピオチン、ビタミンA、ビタミンB ₁ 、ビタミンB ₂ 、ビタミンB ₆ 、ビタミンB ₁₂ 、ビタミンC、ビタミンD、ビタミンE、葉酸、ビタミンK
脂肪酸	n-3系脂肪酸

③ 機能性表示食品

事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品です。販売前に安全性および機能性の根拠に関する情報などが消費者庁長官へ届け出られたものです。ただし、特定保健用食品とは異なり、消費者庁長官の個別の許可を受けたものではありません。

(4) 当社の該当商品

① 「特定保健用食品」

【Newヤクルト】 (2013.8 表示許可を取得)

【ヤクルト400】 (1999.6 表示許可を取得)

【ヤクルト400LT】 (2007.12 表示許可を取得)

【ジョア(プレーン)】 (1998.11 表示許可を取得)

【ソフル(プレーン、LT、ストロベリー)】 (プレーン、ストロベリーは、1999.6 表示許可を取得)

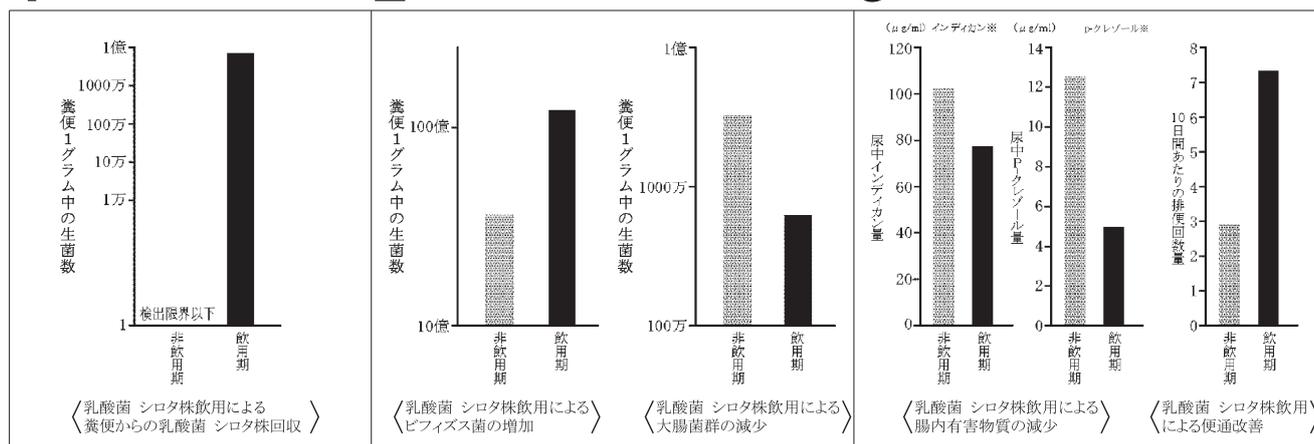
(LTは、2016.4 表示許可を再取得)

(許可表示)

生きたまま腸内に到達する乳酸菌 シロタ株 (L. カゼイ YIT 9029) の働きで、良い菌を増やし悪い菌を減らして、腸内の環境を改善し、おなかの調子を整えます。

<参考：データで示す乳酸菌 シロタ株 (L. カゼイ YIT 9029) の働き>

1 生きたまま腸に到達する 2 良い菌を増やし、悪い菌を減らす 3 腸内の環境を改善する



(田中ら、理研腸内フローラシンポジウム12、腸内フローラと食餌 1994)

(田中ら、理研腸内フローラシンポジウム12、腸内フローラと食餌 1994)

(田中ら、理研腸内フローラシンポジウム1、腸内フローラと発癌 1981)

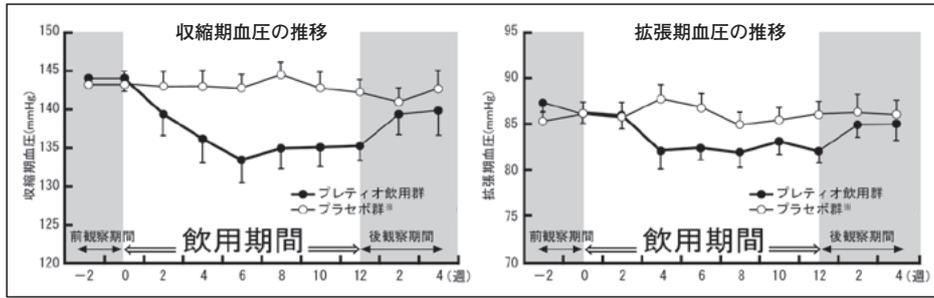
※インディカン：腸内でつくられる有害物質であるインドールは、肝臓で解毒されて、インディカンになり尿中に排泄されます。尿中インディカン量を測定することにより、腸内のインドール量を推定できます。

※P-クレゾール：フェノール類の一種で腸内の有害菌によってつくられる発がん促進物質。

【プレティオ】(2004.9 表示許可を取得)

(許可表示)

本品はγ-アミノ酪酸 (GABA) を含んでおり、血圧が高めの方に適した飲料です。



(梶本ら、健康・栄養食品研究、第6巻、第2号、2003)

※プラセボ：ある成分の効果を正確に判定するために、その成分を除いて作ったサンプル。

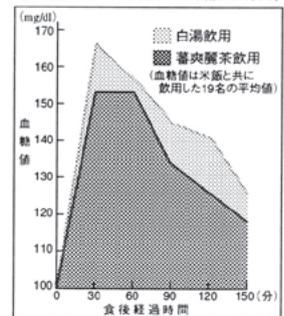
【ヤクルト蕃爽麗茶】(2000.3 表示許可を取得)

(許可表示)

ギャバ葉ポリフェノールの働きで、糖の吸収をおだやかにするので、食後の血糖値が気になる方に適した飲料です。

1日当たりの摂取目安量：お食事ごとに200ml

蕃爽麗茶飲用による食後の血糖値上昇抑制

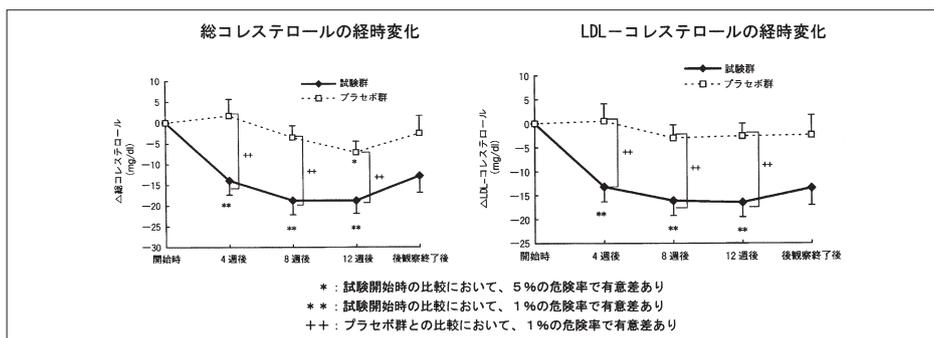


(出口ら、日本農芸化学会誌、第72巻8号、1998)

【調製豆乳 国産大豆使用】(2008.4 表示許可を取得)

(許可表示)

本品は豆乳を原料とし、血清コレステロールを低下させる働きがある大豆たんぱく質を摂取しやすいように工夫されているので、コレステロールが気になる方の食生活の改善に役立ちます。



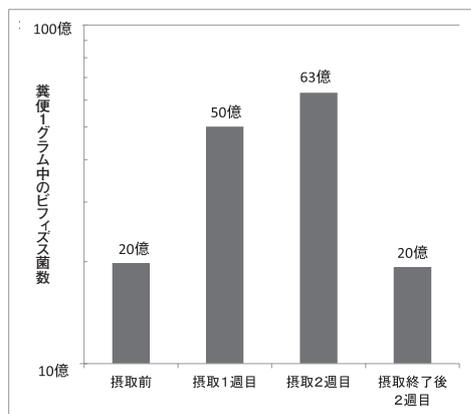
* : 試験開始時の比較において、5%の危険率で有意差あり
 ** : 試験開始時の比較において、1%の危険率で有意差あり
 +++ : プラセボ群との比較において、1%の危険率で有意差あり

(都築ら、健康・栄養食品研究 第7巻4号 2004)

- 【オリゴ糖入り梅ドリンク】(2010.4 表示許可を取得)
- 【黒酢ドリンク】(2013.8 表示許可を取得)
- 【ヤクルトの乳性飲料 ミルージュ】(2013.12 表示許可を取得)
- 【ヤクルトの乳性飲料 ミルージュ200】(2013.12 表示許可を取得)

(許可表示)

本品はガラクトオリゴ糖が含まれておりビフィズス菌を増やして腸内の環境を良好に保つので、おなかの調子を整えます。(規格基準型)



(松本ら、腸内細菌学雑誌、第18巻1号、2004)

② 「栄養機能食品」

【ジョア マスカット】

(栄養機能表示)

鉄は、赤血球を作るのに必要な栄養素です。

【タフマン・タフマンV・タフマンスーパー・Tough-Man Refresh】

(栄養機能表示)

ビタミンB₆は、たんぱく質からのエネルギーの産生と皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です。

【ミルージュ ソーダ】

(栄養機能表示)

ビタミンDは、腸管でのカルシウムの吸収を促進し、骨の形成を助ける栄養素です。

【ごくごく飲める大麦若葉 栄養アップ】

(栄養機能表示)

葉酸は、赤血球の形成を助けるとともに、胎児の正常な発育に寄与する栄養素です。

ビタミンDは、腸管でのカルシウムの吸収を促進し、骨の形成を助ける栄養素です。

③ 「機能性表示食品」

【サプリズム ブルーベリーA (エース)】

(届出表示)

本品にはビルベリー果実由来アントシアニンが含まれます。ビルベリー果実由来アントシアニンには、VDT作業(パソコンやスマートフォンなどのモニター作業)で目をよく使うことによって生じるピント調整機能の低下を緩和することが報告されています。

(届出番号)

C285

5. 食品事業の概要

(1) 乳製品

当社は「予防医学」の立場から、健康を追究するという独自の道を歩み、有用微生物利用に関する研究および開発を続けてきました。ヤクルトの主力商品である乳製品乳酸菌飲料（Newヤクルト・ヤクルト400・プレティオ・BF-1等）やはっ酵乳（ジョア・ミルミル・ソフル等）は、このような背景と日々の研究成果から生まれたもので、生きたまま腸内に到達するように強化培養された乳酸菌 シロタ株とビフィズス菌 B Y株、B. ビフィダム Y株などの有用微生物の力を利用したものです。

①乳製品乳酸菌飲料

商品名	発売	特長
トクホ Newヤクルト	2013.11	生きたまま腸内に到達して働く、乳酸菌 シロタ株の摂取ができる。1本に200億個の乳酸菌 シロタ株を含む。ポリスチレン容器65ml ※「ヤクルト」は1935年に販売を開始しました。
Newヤクルトカロリーハーフ	2013.11	生きたまま腸内に到達する、乳酸菌 シロタ株が1本に200億個含まれる。「Newヤクルト」に比べカロリー・糖質を50%カットし、甘さひかえめでスッキリとした風味。「脂肪ゼロ」。 ※「ヤクルトカロリーハーフ」は2009年に販売を開始しました。ポリスチレン容器65ml
トクホ ヤクルト400	1999. 1 2005. 4 7本パック	生きたまま腸内に到達して働く、乳酸菌 シロタ株の摂取ができる。1本に400億個の乳酸菌 シロタ株を含む。ポリスチレン容器80ml
トクホ ヤクルト400LT	2008. 9	生きたまま腸内に到達して働く、乳酸菌 シロタ株の摂取ができる。ヤクルト400に比べ甘さひかえめ、カロリー30%カット。1本に400億個の乳酸菌 シロタ株を含む。ポリスチレン容器80ml
毎日飲むヤクルト	2015.11 地域限定販売 2016. 5 全国販売	生きたまま腸内に到達する、乳酸菌 シロタ株が1本に300億個含まれる。飲みきりタイプの容器で甘さひかえめ、「脂肪ゼロ」。セブン&アイグループ限定販売。紙、ポリエチレン製、複合容器100ml
シンバイオティクスヤクルトW	2017.10	生きたまま腸内に到達する乳酸菌 シロタ株300億個と腸内の乳酸菌を増やすガラクトオリゴ糖を一緒に摂取できる。「脂肪ゼロ」。紙、ポリエチレン製、複合容器100ml
ヤクルトファイブ	2019. 3	生きたまま腸内に到達して働く、乳酸菌 シロタ株が1本に300億個含まれ、5種の栄養成分（カルシウム、ビタミンC、ビタミンD、ビタミンE、食物繊維）が含まれている。ポリスチレン容器80ml
トクホ プレティオ	2004.11 2006. 9 7本パック	乳酸菌 シロタ株とラクトコッカス ラクチスを混合培養することにより産生されるGABA（γ-アミノ酪酸）10mg以上を1本に含む。血圧が高めの方に。紙容器（紙とアルミ箔の5層構造）100ml
B F - 1 (ビーエフワン)	2007.11 地域限定販売 2010. 4 全国販売 2017. 9 容器変更	胃ではたらく、当社独自のビフィズス菌（B. ビフィダム Y株）を1本に10億個以上含む。まろやかなヨーグルト風味。紙容器（紙とアルミ箔の5層構造）100ml

②乳等を主原料とする食品

商品名	発売	特長
カップ de ヤクルト	2014.10 期間限定販売	「ヤクルト」の風味が生クリームとマッチし、濃厚な味わいとスッキリとした酸味を楽しむ「食べるタイプ」のヤクルト。1個に10億個の乳酸菌 シロタ株を含む。キャップ付き紙カップ80g

③はっ酵乳

商品名	発売	特長	
シヨア	トクホ プレーン	のむタイプのヨーグルト。生きたまま腸内に到達して働く、乳酸菌 シロタ株と1日所要量の約1/3のカルシウムと約1/2のビタミンDの摂取ができる。1本に12.5億個以上の乳酸菌シロタ株を含む。ポリスチレンキャップ付きポリスチレン容器125ml ※プレーンは特定保健用食品、マスカットは栄養機能食品	
	1970.11 プレーン 1976. 3 ストロベリー 2000.11 ブルーベリー		
	2015. 6 マスカット		
	栄養機能食品		
アロエ (食べるタイプ) ブルーベリー (食べるタイプ)	2012.10	ソフトタイプの食べるヨーグルト。生きたまま腸内に到達する、乳酸菌 シロタ株の摂取ができる。1個に9億個以上の乳酸菌 シロタ株を含む。ポリプロピレンキャップ付きポリプロピレン容器90g	
ミ ル ミ ル	2010. 3	のむタイプのビフィズス菌ヨーグルト。大腸ではたらく、ビフィズス菌 BY株を1本に120億個以上含む。砂糖不使用、虫歯の原因にならないパラチノースを使用。にんじん汁を配合し、酸味を抑えた飲みやすいすっきりミルク風味。紙容器(紙とアルミ箔の5層構造)100ml	
ミ ル ミ ル S	2010.10	のむタイプのビフィズス菌ヨーグルト。大腸ではたらく、ビフィズス菌 BY株を1本に120億個以上、ガラクトオリゴ糖を1g含むほか、食物繊維、鉄、葉酸、ビタミンB ₆ ・B ₁₂ ・E、コラーゲンを含む。ミルミルに比べて低カロリータイプ。紙容器(紙とアルミ箔の5層構造)100ml	
ソフール	トクホ ストロベリー プレーン LT	1975. 8 ストロベリー 1980. 9 プレーン 2001. 2 LT	ハードタイプの食べるヨーグルト。生きたまま腸内に到達して働く、乳酸菌 シロタ株の摂取ができる。1個に10億個以上の乳酸菌 シロタ株を含む。キャップ付き紙カップ100ml
	元気ヨーグルト	2012. 6 元気ヨーグルト	ハードタイプの食べるヨーグルト。低脂肪でさっぱりとしたミルク風味で鉄、カルシウムを含む。1個に6億個以上の乳酸菌 シロタ株を含む。キャップ付き紙カップ70g

④その他

商品名	発売	特長
ヤクルトのはっ酵豆乳	2017.10	乳酸菌 シロタ株300億個とイソフラボンが10mg(アグリコンとして)が摂れるはっ酵豆乳飲料。豆乳の風味が苦手な方でも飲みやすいヨーグルト風味。「脂肪ゼロ」、コレステロールゼロ。ノンアルミ紙容器100ml

<参考：発酵乳、乳酸菌飲料の成分規格> 厚生労働省「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令」

成分	種 類 別	発 酵 乳	乳 酸 菌 飲 料	
			乳製品乳酸菌飲料	乳酸菌飲料
無 脂 乳 固 形 分		8.0 % 以 上	3.0 % 以 上	3.0 % 未 満
乳酸菌数又は酵母数(1ml当たり)		1 千 万 以 上	1 千 万 以 上	百 万 以 上
大 腸 菌 群		陰 性	陰 性	陰 性

(2) 清涼飲料水

①茶系飲料

商 品 名	発 売	特 長
お 茶	2000. 3	国産茶葉の豊かな香りと味を活かした緑茶。紙容器200ml、PET容器280ml、500ml
トクホ ヤクルト 蕃 爽 麗 茶	1998. 6	グァバ葉を原料とした無糖茶飲料。グァバ葉ポリフェノールには食後の血糖値の急激な上昇を抑える働きがある。紙容器200ml、PET容器500ml、2000ml
手 軽 に 蕃 爽 麗 茶	2017. 9	グァバ葉ポリフェノールが手軽に摂れる粉末タイプの健康茶。スタンディングパウチ20g (1.0g×20袋)
爽 涼 健 茶	2011.10	大麦、はぶ茶、はと麦を中心に 11種類の茶原料をブレンドし、オキナワモズクから抽出したフコイタンを80mg配合した混合茶飲料。紙容器200ml

②乳性飲料

商 品 名	発 売	特 長
トクホ (規格基準型) ヤクルトの乳性飲料 ミ ル ー ジ ュ	2014. 5	ヤクルトのような風味ですっきりとした褐色系乳性飲料。おなかの調子を整える働きのあるガラクトオリゴ糖を1本に2.5g含む。紙容器200ml、PET容器500ml
トクホ (規格基準型) ヤクルトの乳性飲料 ミ ル ー ジ ュ 2 0 0		
ヤクルトの乳性飲料 ミ ル ー ジ ュ C a l 2 5	2014. 5	カルシウムとビタミンDを配合したヤクルト風味の褐色系の乳性飲料。飲み切りやすい小容量タイプ。(給食チャネルでの販売が中心) 紙容器125ml×3
ミ ル ー ジ ュ ソ ー ダ 栄養機能食品	2017. 4	ビタミンDを配合し、ヨーグルトの風味と炭酸の刺激がマッチしたさわやかな炭酸入り乳性飲料。ボトル缶300ml
ミ ル ー ジ ュ	2019. 3	ごくごく飲めてすっきりとしたヤクルト風味の褐色系乳性飲料。PET容器280ml

③栄養ドリンク

商 品 名	発 売	特 長
タ フ マ ン 栄養機能食品	1980.11	高麗人参エキスを中心にビタミンB ₂ ・B ₆ 等を配合した健康飲料。ガラスびん110ml
タ フ マ ン V 栄養機能食品	2004. 3	高麗人参エキス、ローヤルゼリー、アルギニン、ビタミンB群等を配合した健康飲料。ガラスびん110ml
タ フ マ ン ス ー パ ー 栄養機能食品	2011.10	高麗人参を1000mg、ローヤルゼリーを100mg配合し、「タフマン」「タフマンV」よりも成分を強化した健康飲料。ガラスびん110ml
Tough-Man Refresh (タフマン リフレッシュ) 栄養機能食品	2018. 3	高麗人参エキス、ビタミンB ₆ 、ガラナエキスを配合した炭酸タイプのリフレッシュ飲料、カフェインレスタイプ。缶容器190g

④ビネガードリンク

商 品 名	発 売	特 長
トクホ (規格基準型) 黒 酢 ド リ ン ク	2002. 9 地域限定販売 2004. 3 全国販売	純米熟成黒酢に、紀州南高梅果汁を組み合わせた、おいしく飲みやすいビネガードリンク。おなかの調子を整える働きのあるガラクトオリゴ糖を2.5g含む。紙容器125ml、1000ml

⑤豆乳類

商 品 名	発 売	特 長
トクホ 調製豆乳 国産大豆使用	2008. 6	国産大豆を100%使用した、コレステロールが気になる方向けの調製豆乳。大豆たんぱく質を7.0g含むほか、カルシウム、ビタミンEも含有。紙容器200ml
ラン ミ コ ー ヒ ー	1982. 5	青臭みがなく、すっきり飲みやすいミルクコーヒー風味の豆乳飲料。紙容器200ml
バ ナ ナ	1999. 2	青臭みがなく、すっきり飲みやすいバナナミルク風味の豆乳飲料。紙容器200ml

⑥野菜・果実飲料

商 品 名	発 売	特 長	
オ レ ン ジ ジ ュ ース	1974. 6 2012. 7 125ml紙容器	オレンジ濃縮果汁を使用した100%ジュース。紙容器125ml、200ml	
ア ッ プ ル ジ ュ ース	1977. 6	混濁タイプのりんご100%天然果汁。紙容器200ml	
パ イ ナ ッ プ ル ジ ュ ース	1990. 7	良質なパイナップルを使用した100%天然果汁。紙容器200ml	
グ レ ー プ フ ル ー ツ ジ ュ ース	1999. 3	厳選したグレープフルーツを使用したさわやかな風味の 100%天然果汁。紙容器200ml	
完 熟 王 林	2011.11 数量限定販売	青りんごの代表品種「王林」のストレート果汁を使用したプレミアムタイプの100%りんごジュース。紙容器200ml	
き に な る 野 菜	ア ッ プ ル & キ ャ ロ ッ ト	2017. 9	りんご果汁30%とにんじん搾汁20%を組み合わせた飲みやすい野菜入り低果汁飲料。紙容器125ml×3、200ml
	白ぶどう&ほうれん草		白ぶどう果汁30%とほうれん草搾汁10%を組み合わせた野菜入り低果汁飲料。紙容器125ml×3、200ml
き に な る 野 菜	1 食 分 の 野 菜 ポ リ フ ェ ノ ール	2017. 9	アヤムラサキをはじめとした紫野菜が手軽に摂れる100%の野菜・果実ミックスジュース。ポリフェノールを89~206mg/個含む。紙容器200ml
	1 食 分 の 野 菜 β - カ ロ テ ン		にんじんをはじめとした緑黄色野菜が手軽に摂れる 100%のにんじんミックスジュース。β-カロテンを1,422~8,105μg/個含む。紙容器200ml
100	贅 沢 野 菜 1 日 分		30種類の野菜350g分の搾汁をバランスよくミックスした野菜ジュース。紙容器200ml
さ っ ぱ り り ん ご	2008. 6	生果のような澄んだ甘い香り立ちとすっきりとした後口が特長の果汁入り清涼飲料。PET容器280ml	
野 菜 ジ ュ ー ース	1976. 5	トマトを主体にセロリ、にんじん等9種類の野菜、レモン果汁をミックスした野菜ジュース。紙容器200ml	
野 菜 ジ ュ ー ース (食 塩 無 添 加)	2000. 4	トマトを主体に、セロリ、にんじん等9種類の野菜をミックスし、食塩無添加で野菜本来の旨みを生かした野菜ジュース。紙容器200ml	
ト マ ト ジ ュ ー ース	1999. 9 数量限定販売	もぎたての新鮮な旬のトマトをそのまま搾ってすぐに缶に充填(シーズンパック)したトマトジュース。スチール缶190g	
搾 り た て に ん じ ん	2015. 2 数量限定販売	旬のにんじん(主に九州産「黒田五寸」)を搾って冷凍保存せずに濃縮した後、すぐに缶に充填したにんじん濃縮飲料。旬のにんじんならではの、こく味のある甘さと芳醇な味わい。スチール缶160g	
ヤ ク ル ト の お い し い は っ 酵 果 実	2015. 2 2018. 1 地域限定販売 全国販売	温州みかん果汁を乳酸菌「L. プランタルム YIT 0132」で発酵させた、乳原料を使用しない乳酸菌はっ酵果汁飲料。紙容器125ml	

⑦コーヒー

商 品 名	発 売	特 長	
珈 琲 た い む	ミ デ ィ ア ム	2006. 4	厳選した上質なアラビカ種を 100%使用。コーヒー感を若干強調したスタンダードタイプのコーヒー。スチール缶160g、185g、紙容器200ml
	カ フ ェ ラ テ		厳選した上質なアラビカ種を 100%使用。牛乳を 25%使用した本格的で贅沢なカフェオレタイプのコーヒー。スチール缶185g、紙容器200ml
	ブ ラ ッ ク		厳選した上質なアラビカ種を 100%使用。砂糖、ミルクなどを一切使用していない、ブラック無糖タイプのコーヒー。紙容器200ml

⑧乳飲料

商 品 名	発 売	特 長
マイルドカフェ・オ・レ	2005. 7	牛乳等のまろやかな味わいと厳選したコーヒーのおいしさがバランス良くマッチしたコーヒー入り乳飲料。紙容器250ml
マイルドいちご・オ・レ	2011.10	牛乳等のまろやかな味わいと厳選したいちご果汁のおいしさがバランス良くマッチしたいちご果汁入り乳飲料。紙容器250ml

⑨その他

商 品 名	発 売	特 長	
レ モ リ ア	2001. 6	リラックスが期待できるテアニン(緑茶などに含まれるアミノ酸の一種)を含み、レモン果汁とリーフ系ハーブを中心とした7種のハーブエキスが程よく調和した心と体を癒すリラックス飲料。紙容器250ml	
ク イ ッ ク チ ャ ー ジ	2019. 3	発汗により失われたミネラル(ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム)を素早く補給できる低カロリーのスポーツドリンク。PET容器500ml	
ア ヤ ム ラ サ キ	2003. 9 地域限定販売 2008. 4 全国販売 2011. 3 表示追加	濃い紫色をしたさつまいも(アヤマラサキ)の搾汁を100%使用した、アントシアニンを含む健康飲料。紙容器125ml	
トクホ(規格基準型) オリゴ糖入り梅ドリンク	2011. 9	紀州南高梅果汁を使用し爽やかな酸味でさっぱりとした風味。おなかの調子を整える働きのあるガラクトオリゴ糖を2.5g含む。紙容器200ml	
ぎ ゅ っ と 健 康	カ シ ス	2009.10	カシスポリフェノールを1個に140mg含んだ飲料。紙容器65ml
	グ ル コ サ ミ ン	2010. 6	グルコサミンを1個に1500mg、コンドロイチン10mgを含んだ飲料。りんご果汁30%。紙容器65ml
	アスタキサンチン	2014. 8	アスタキサンチン 3mg、ビタミンC 100mg、ハトムギエキス 100mgを含んだアセロラ風味の飲料。紙容器65ml
C H O B I (チ ョ ビ)	2012. 5 地域限定販売 2013. 6 全国販売	コラーゲン1000mg配合に加え、コラーゲンの生成を助けるパフィア 50mg(パフィアエキスとして)、ビタミンC100mgを配合したオレンジ味の美容飲料。紙容器65ml	
コ コ ア	1982. 9	ココアとミルクをたっぷり使った本格的ココアドリンク。スチール缶190g	
カ フ ェ ・ オ ・ レ	2016. 9	ミルクとコーヒーをバランス良くブレンドした甘くてまろやかな味わいのコーヒー入り清涼飲料。紙容器250ml	
い ち ご ・ オ ・ レ	2018. 9	いちごとミルクをバランス良くブレンドした甘くてまろやかな味わいの清涼飲料。紙容器250ml	

(3) 麺 類

	商 品 名	発 売	特 長
麵許皆伝	し ょ う ゆ 味 み し そ お 味	1999.10	[めん] めんは良質の小麦粉を使用し、コシの強さが特長。国産大麦若葉を原料とした粉末青汁を練り込みめんを緑色に仕上げ、大麦若葉の独特の風味を和らげるためにガラクトオリゴ糖を配合。カルシウムを強化している。
	ソ ー ス 焼 そ ば	2001. 9	
	カ レ ー ラ ー メ ン	2015. 9	[スープ・ソース] ビタミンB ₁ ・B ₂ を強化している。
乾麵物語	カ レ ー う ど ん	2013.12	麩でとったダシの風味がきいた和風のカレーとそれにマッチした平麺があう本格的なうどん。
	と ん こ つ し ょ う ゆ ー め ん		コシの強さと歯ごたえのある麺と、旨みたっぷりのとんこつを特製醤油で仕上げた白湯スープラーメン。
	し ょ う ゆ ら ー め ん	2016.12	本醸造しょうゆで仕上げた旨味あふれる香り豊かなスープと歯ごたえのあるしこしこ麺。
	汁 な し 担 々 麵	2014. 5	豆板醤のピリッとした辛みに甜麺醬でコクをつけた甘辛さが麺とよく絡み、冷たくしても温かくしても食べられる担々麺。
	冷 し 中 華	2016. 5 期間限定販売	爽やかなレモン風味が特長で、リンゴ酢を加え、まろやかな味わい。
佐賀の神埼	そ う め ん ひ や む ん ぎ	1974. 4	佐賀県神埼の清らかな水と厳選した小麦粉を使用し、めん本来の風味と独特の食感が味わえる乾麺。
	中 め ん う ど ん	1987.10	佐賀県神埼の清らかな水と良質の小麦粉から生まれたふっくらとしたなめらかな舌ざわりの麺。
	そ ば	1998.10	佐賀県神埼の清らかな水と、厳選した小麦粉とそば粉を使用し、風味豊かに仕上げたそば。

(4) 健康食品（ヤクルトレディがお届けするヤクルトヘルスフーズ(株)の商品）

	商 品 名	発 売	特 長
	毎 日 う れ し い ケ ー ル の 青 汁	2012. 2	誰にでも手軽に野菜の栄養を摂取できる、さらりと飲みやすい青汁。良質なケールを使用し、おなかにやさしいガラクトオリゴ糖を配合。
	ハ イ パ ー ケ ー ル	2017. 4 地域限定販売	グルコラファニンを高含有する新品種「ハイパール」を使用した青汁。
	ご く ご く 飲 め る 大 麦 若 葉 栄 養 ア ッ プ <small>栄養機能食品</small>	2017.11	大麦若葉を使用、青汁特有の青臭さを抑え飲みやすさを重視した青汁。葉酸、ビタミンD、カルシウム、鉄などの栄養素が摂取できる。
サプリメント	フ コ イ ダ ン	2008.10	沖縄モズクから抽出したフコイダン100%使用。1日目安量3粒でフコイダン80mgを摂取できる。
	マ ル チ ビ タ ミ ン & ミ ネ ラ ル	2013. 4	1日目安量9粒で12種のビタミンと10種のミネラルが手軽に補給できる小粒タブレットタイプ。
	グ ル コ サ ミ ン	2012. 9	1日目安量9粒で、グルコサミン1500mgを摂取できるほか、コンドロイチン、低分子ヒアルロン酸を配合している。
	コ ラ ー ゲ ン	2009.10	女性にお勧めの美容成分を美味しく補助できる健康補助食品。1日の目安量1包5.2gで5000mg、セラミド600μg、エラスチン10mgを摂取できる。(粉末タイプで料理や飲み物に合わせやすく飲みやすい。)
	ブ ル ー ベ リ ー A (エース) <small>機能性表示食品</small>	2018. 4	ビルベリー果実由来のアントシアニン57.6mg（機能性関与成分）と、ルテイン6mgを1日摂取量目安2粒に配合している。
	D H A & E P A	2013.11	1日目安量5粒でDHA(300mg)、EPA(200mg)が摂取できる。魚臭さを取り除き、飲みやすいソフトカプセルタイプ。

6. 国際事業の概要

(1) 海外事業所

ヤクルトの海外進出は、1964年3月の台湾ヤクルト(株)を皮切りに、現在28の事業所および一つの研究所を中心に、38の国と地域で主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の販売を行っています。2018年12月末でのヤクルトレディ(YL)数は47,269人、取引店舗数は789,631店、社員数は23,582人(出向者は含まず)となっています。また、2018年(1~12月)の乳製品1日平均販売本数は、約3,113万本です。

地域	社名	※1 代表者	営業開始	所在地	※2 1日平均 販売本数 (万本)	※3 YL数	※3 取引店舗数	※3 社員数
アジア	台湾ヤクルト(株) (養樂多股份有限公司)	松園明洋	1964年3月 (昭和39年)	台北	73.1	1,203	38,082	270
	香港ヤクルト(株) (香港益力多乳品有限公司)	川端美博	1969年6月 (昭和44年)	香港	54.2	0	6,212	183
	タイヤクルト(株) (YAKULT (THAILAND) CO., LTD.)	キティバン・ヘータクン	1971年6月 (昭和46年)	バンコク	229.2	3,383	27	1,411
	韓国ヤクルト(株) (KOREA YAKULT CO., LTD.)	金炳辰	1971年8月 (昭和46年)	ソウル	323.9	10,887	0	991
	フィリピンヤクルト(株) (YAKULT PHILIPPINES, INC.)	アルバート・ディスン	1978年10月 (昭和53年)	マニラ	308.8	3,623	165,546	1,394
	シンガポールヤクルト(株) (YAKULT (SINGAPORE) PTE., LTD.)	川田博幸	1979年7月 (昭和54年)	シンガポール	22.8	354	3,849	162
	インドネシアヤクルト(株) (P.T.YAKULT INDONESIA PERSADA)	上野早苗	1991年1月 (平成3年)	ジャカルタ	583.1	9,252	216,149	6,164
	オーストラリアヤクルト(株) (YAKULT AUSTRALIA PTY. LTD.)	大野謙二	1994年2月 (平成6年)	ダンデノン	24.5	0	5,915	117
	マレーシアヤクルト(株) (YAKULT (MALAYSIA) SDN. BHD.)	濱田浩志	2004年2月 (平成16年)	シヤアラム	34.5	477	16,414	371
	ベトナムヤクルト(株) (YAKULT VIETNAM CO., LTD.)	原本俊彦	2007年9月 (平成19年)	ホーチミン	37.7	606	23,275	679
インドヤクルト・ダノン(株) (YAKULT DANONE INDIA PVT. LTD.)	畷田実	2008年1月 (平成20年)	ニューデリー	21.7	274	7,690	217	
中東ヤクルト販売(株) (YAKULT MIDDLE EAST FZCO)	田中功二	2017年3月 (平成29年)	ドバイ	1.6	0	726	4	
広州ヤクルト(株) (広州益力多乳品有限公司)	川端美博	2002年6月 (平成14年)	広州	285.6	1,862	62,198	1,395	

地域	社名	※1 代表者	営業開始	所在地	※2 1日平均 販売本数 (万本)	※3 YL数	※3 取引店舗数	※3 社員数
アジア・オセアニア	中国ヤクルト(株) (養樂多(中国)投資有限公司)	平野 晋	2007年4月 (平成19年)	上海	362.8	281	97,347	2,656
	上海ヤクルト(株) (上海益力多乳品有限公司)	平野 晋	2005年5月 (平成17年)	上海	61.7	461	10,707	439
	北京ヤクルト販売(株) (北京雅可乳特貿易有限公司)	平野 晋	2006年6月 (平成18年)	北京	42.5	177	5,750	244
	天津ヤクルト(株) (天津養樂多乳品有限公司)	平野 晋	2011年8月 (平成23年) (生産開始)	天津	-	-	-	317
	無錫ヤクルト(株) (無錫養樂多乳品有限公司)	平野 晋	2015年6月 (平成27年) (生産開始)	無錫	-	-	-	307
米州	ブラジルヤクルト商工(株) (YAKULT S/A IND. E COM.)	根本 篤	1968年10月 (昭和43年)	サンパウロ	165.8	4,933	62,578	2,456
	メキシコヤクルト(株) (YAKULT S.A. DE C.V.)	岡田 享	1981年10月 (昭和56年)	メキシコ シテイ	382.0	9,496	24,639	3,527
	アメリカヤクルト(株) (YAKULT U.S.A. INC.)	清水 実千男	1999年10月 (平成11年)	ファウンテン バレー	34.2	0	10,145	96
欧州	ヨーロッパヤクルト(株) (YAKULT EUROPE B.V.)	松原 弘泰	1996年3月 (平成8年)	アルメア (オランダ)	1.7	0	1,062	115
	オランダヤクルト販売(株) (YAKULT NEDERLAND B.V.)	ピート・デッカーズ	1994年4月 (平成6年)	アムステル フェーン	17.0	0	3,822	15
	ベルギーヤクルト販売(株) (YAKULT BELGIUM N.V. /S.A.)	パート・デゲースト	1995年4月 (平成7年)	ブリュッセル	6.0	0	2,227	4
	イギリスヤクルト販売(株) (YAKULT UK LTD.)	吉村 洋朗	1996年4月 (平成8年)	ロンドン	19.9	0	5,778	18
	ドイツヤクルト販売(株) (YAKULT DEUTSCHLAND GMBH)	平野 達也	1996年4月 (平成8年)	ノイス	8.0	0	9,470	14
	オーストリアヤクルト販売(株) (YAKULT OESTERREICH GMBH)	松原 弘泰	2005年12月 (平成17年)	ウィーン	1.2	0	3,633	3
	イタリアヤクルト販売(株) (YAKULT ITALIA S.R.L.)	松原 弘泰	2007年2月 (平成19年)	ミラノ	9.8	0	6,390	13

※1：代表者は、2019年6月1日現在。

※2：1日平均販売本数は2018年（1～12月）の年間平均本数。

※3：ヤクルトレディ（YL）数、取引店舗数、社員数は2018年12月末日現在。

<海外事業所分布>



<28の事業所>

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①台湾ヤクルト(株) | ⑮ドイツヤクルト販売(株) |
| ②ブラジルヤクルト商工(株) | ⑯アメリカヤクルト(株) |
| ③香港ヤクルト(株) | ⑰広州ヤクルト(株) |
| ④タイヤクルト(株) | ⑱マレーシアヤクルト(株) |
| ⑤韓国ヤクルト(株) | ⑲中国ヤクルト(株) |
| ⑥フィリピンヤクルト(株) | ⑳上海ヤクルト(株) |
| ⑦シンガポールヤクルト(株) | ㉑オーストリアヤクルト販売(株) |
| ⑧メキシコヤクルト(株) | ㉒北京ヤクルト販売(株) |
| ⑨インドネシアヤクルト(株) | ㉓イタリアヤクルト販売(株) |
| ⑩オーストラリアヤクルト(株) | ㉔ベトナムヤクルト(株) |
| ⑪オランダヤクルト販売(株) | ㉕インドヤクルト・ダノン(株) |
| ⑫ベルギーヤクルト販売(株) | ㉖天津ヤクルト(株) |
| ⑬ヨーロッパヤクルト(株) | ㉗無錫ヤクルト(株) |
| ⑭イギリスヤクルト販売(株) | ㉘中東ヤクルト販売(株) |

※営業開始順

<38の国と地域>

- | | |
|---------|----------|
| 台湾 | アメリカ |
| ブラジル | 中国 |
| 香港 | マレーシア |
| タイ | ニュージーランド |
| 韓国 | アイルランド |
| フィリピン | オーストリア |
| シンガポール | イタリア |
| メキシコ | カナダ |
| ブルネイ | ベトナム |
| インドネシア | インド |
| オーストラリア | ベリーズ |
| オランダ | マルタ |
| ベルギー | スイス |
| フランス | アラブ首長国連邦 |
| イギリス | オマーン |
| ドイツ | バーレーン |
| ルクセンブルク | カタール |
| スペイン | クウェート |
| ウルグアイ | デンマーク |

なお、ブルネイはシンガポールヤクルトから、オランダ、ベルギー、フランス、イギリス、ドイツ、ルクセンブルク、スペイン、アイルランド、オーストリア、イタリア、マルタ、スイス、デンマークはヨーロッパヤクルトから、ウルグアイはブラジルヤクルトから、ニュージーランドはオーストラリアヤクルトから、カナダはアメリカヤクルトから、ベリーズはメキシコヤクルトから、アラブ首長国連邦、オマーン、バーレーン、カタール、クウェートはフィリピンヤクルトからそれぞれ製品供給を受け、販売しています。

(2) 海外工場の概要

(2019年3月末日現在)

地域	国・地域名	工場名	生産開始 (年月)	住所 (所在地)	製造生産品目	生産 能力 (万本)	HACCP [®]	ISO [®] 9001	ISO [®] 14001	ISO [®] 22000	FSSC [®] 22000	GMP [®]	SQF [®]	
アジア・オセアニア	台湾	中壢工場	1964年3月	桃園	ヤクルト ヤクルト300 ヤクルト300ライト ジョア	210				○		○	○	
	香港	大埔工場	1969年6月	香港	ヤクルト ヤクルトライト	90	○	○		○				
	タイ	バンコク工場	1971年8月	バンコク	ヤクルト	190	○						○	
		アユタヤ工場	2009年2月	アユタヤ	ヤクルト ヤクルトライト	140	○						○	
	韓国	平澤工場	1978年9月	平澤	ヤクルト ヤクルトプレミアムライト ヤクルトライト	200	○							
		梁山工場	1980年3月	梁山	ヤクルト ヤクルトライト	110	○							
		論山工場	1985年6月	論山	ヤクルト類なし	0	○							
		天安工場	1995年4月	天安	ヤクルト類なし	0	○						○	
	フィリピン	カランバ工場	1978年10月	カランバ	ヤクルト ヤクルトライト	400							○	
	シンガポール	シンガポール工場	1979年7月	セノコ地区	ヤクルト ヤクルトライト	20	○	○						
	インドネシア	スカブミ工場	1991年1月	スカブミ	ヤクルト	360				○				
		スラバヤ工場 (モジョコルト工場)	2014年1月	モジョコルト	ヤクルト	490								
	オーストラリア	オーストラリア工場	1994年2月	ダンデノン	ヤクルト ヤクルトライト	40	○	○						
	マレーシア	マレーシア工場	2004年2月	セレンパン	ヤクルトエース ヤクルトエースライト	70	○							
	ベトナム	ベトナム工場	2008年4月	トゥアンアン	ヤクルト	70	○		○	○				
	インド	ソニパット・ライ 工場	2007年12月	ソニパット・ライ	ヤクルト ヤクルトライト	30	○	○						
	中国	広州第一工場	2002年6月	広州	ヤクルト	160	○	○	○				○	
		広州第二工場	2014年3月	広州	ヤクルト ヤクルトライト	200	○	○	○					
		上海工場	2006年7月	上海	ヤクルト	170	○	○						
		天津工場 (第二工場棟含む)	2011年8月	天津	ヤクルト ヤクルトライト	350					○			
無錫工場		2015年6月	無錫	ヤクルト ヤクルトライト	220	○	○							
佛山工場		2019年3月	佛山	ヤクルトライト	120									
米州	ブラジル	ロレーナ工場	1999年4月	ロレーナ	ヤクルト ヤクルト40 ヤクルト40LT ソファール	410	○			○		○		
	メキシコ	イスタパルカ工場	1981年10月	イスタパルカ	ヤクルト ソファールLT ソファールLTドリンク	370	○				○	○		
		グアダラハラ工場	2004年9月	グアダラハラ	ヤクルト ヤクルト40LT ソファールLTドリンク	170	○				○	○		
	アメリカ	カリフォルニア工場	2014年5月	ファウンテンバレー	ヤクルト ヤクルトライト	50	○						○	
欧州	オランダ	アルメア工場	1996年3月	アルメア	ヤクルト ヤクルトライト ヤクルトプラス	170		○	○		○			

※それぞれの用語の説明は6ページ参照

ヤクルトの歴史

ヤクルト本社の概要

ヤクルトグループの概要

プロバイオティクスと
保健機能食品

食品事業の概要

国際事業の概要

化粧品事業の概要

医薬品事業の概要

研究活動の概要

ヤクルトのCSR

お客様相談センター

7. 化粧品事業の概要

乳酸菌飲料でからだの内側・おなかの調子をととのえ、乳酸菌生まれの成分を配合した化粧品でからだの外側・お肌のすこやかさをまもる「内外美容・健腸美肌（けんちょうびはだ）」の考え方に基づくヤクルトの化粧品は「Yakult Beautiens（ヤクルト ビューティエンス）」というブランド名でお届けしています。

創始者である代田 稔の「からだに良い乳酸菌はお肌にも良い」という発想から研究を重ね続け、1955年にスキンケアのための乳酸菌培養液「S. E.（シロタエッセンス）^{*1}」を開発しました。1961年から製品の製造を開始、その後1971年より本格的な販売を行い、現在に至るまで乳酸菌と皮膚科学の探究をたゆまず続け、様々なオリジナル保湿成分を生み出しています。

<当社オリジナル保湿成分>

・ S. E.（シロタエッセンス）^{*1}：

多数の乳酸菌株の中からヤクルトが選びぬいた乳酸菌で、ミルクを発酵させて得られる保湿成分です。お肌本来のうるおい成分である天然保湿因子とよく似ているため、お肌によくなじみます。

※1 乳酸菌はっ酵エキス（ミルク）<成分名：ホエイ（2）>のこと

・ 乳酸菌はっ酵エキス（アロエ）：

薬効の高いアロエベラの葉肉を乳酸菌で発酵させて得られる保湿成分です。肌なじみが良く、すこやかなお肌へ導きます。

・ 高分子ヒアルロン酸：

乳酸菌からつくり出した水分保持力の高いヒアルロン酸で、みずみずしいお肌をたもちます。

・ HBヒアルロン酸：

乳酸菌からつくり出したヒアルロン酸で、お肌（角質層）にスーッといきわたり、うるおいを与える保湿成分です。

（HBヒアルロン酸には高分子ヒアルロン酸がふくまれています。）

・ HBヒアルロン酸（持続型）：

乳酸菌からつくり出したヒアルロン酸（保湿成分）で、お肌（角質層）の深部まで浸透し、うるおいが長時間持続する保湿成分です。

（HBヒアルロン酸には高分子ヒアルロン酸がふくまれています。）

・ ビフィズス菌はっ酵エキス（大豆）：

良質な大豆（豆乳）をビフィズス菌で発酵させ、イソフラボンを活性型にした保湿成分です。ハリ・弾力のあるみずみずしい素肌に導きます。

・ ラメラ粒子：

お肌のラメラ構造に着目して開発された保湿成分です。乱れがちなお肌をすこやかな状態にととのえ、ハリのあるみずみずしいお肌へ導きます。また、成分内にS. E.（シロタエッセンス）をふくんでいます。

・ 水丁香^{すいしょうこう}エキス：

約600種類の植物の中から選び抜いた「水丁香」から抽出した植物エキスです。ハリ、透明感に満ちたお肌に導きます。

これらの当社オリジナル保湿成分を配合した基礎化粧品を中心に、仕上化粧品やトイレットリーなど総合的な商品開発を行い、全国のヤクルトビューティやヤクルトレディを通じて、お客さまにお届けしています。

主要ブランド

<基礎化粧品>

- ・「ヤクルト ビューティエンス ブリリアント ～ザ クリーム～」
→厳選した素材を贅沢に使用し、乳酸菌由来のオリジナル保湿成分のすべてを配合したヤクルト ビューティエンス史上最高峰の高機能クリームです。
- ・「パラビオ」シリーズ（スキンケア・ベースメイク）
→お肌にキメ・つや・ハリを与える「ラメラ粒子」をはじめとするオリジナル保湿成分を配合し、本格的なエイジングケア^{※2}を目指す方にご愛用いただいています。
※2 年齢に応じたお手入れのこと
- ・「リベシィ」シリーズ
→乳酸菌由来のオリジナル保湿成分3種と植物由来のオリジナル保湿成分を配合し、高い保湿力でお肌本来のすこやかさをたもちます。
- ・「リベシィホワイト」シリーズ
→乳酸菌由来のオリジナル保湿成分3種と美白^{※3}成分を配合し、うるおいと透明感をとどけ「透白肌^{※4}」へ導きます。
※3 メラニンの生成をおさえ、シミ・ソバカスを防ぐこと
※4 美白とうるおいにより、明るく透明感あふれるお肌のこと
- ・「ラクトデュウ」シリーズ
→乳酸菌由来のオリジナル保湿成分を配合し、ヤクルトの化粧品を初めて使う方にも、確かなうるおいをとどけます。
- ・美容液（「クリスタンス ホワイトリペア エッセンス」、「エジティックス モイストリペア エッセンス」、「ビサイクル リフトリペア エッセンス」、など）
→肌悩み別の美容液は「美白」「乾燥による小ジワを目立たなくする^{※5}」「ハリ・弾力を与える」など、それぞれの効果が期待できます。
※5 効能評価試験済み
- ・「イキテル」シリーズ
→弱酸性、無香料、無着色、鉱物油フリー、パラベンフリー、アルコールフリーでフレッシュでみずみずしい使い心地を実感できます。通信販売専用商品です。

<仕上化粧品>

- ・「グランティア EX」シリーズ
→お肌にうるおいと華やかな彩りとどけ、本来の美しさを引き出します。

<トイレットリー>

- ・「ポッシュママ」シリーズ
→ボディケアを中心としたファミリー向けのシリーズで、乳酸菌由来のオリジナル保湿成分を配合し、うるおいを与えます。

8. 医薬品事業の概要

ヤクルトの医薬品事業は、1961年に食品用や医薬品原料用酵素を中心とした製品を製造・販売したことに始まります。その後、1967年に医療用医薬品の販売を開始し、現在では、一般用医薬品、医薬部外品、医療機器等にもその分野を広げています。

(1) 一般用医薬品

一般用医薬品の始まりは1979年発売の乳酸菌製剤「ヤクルト整腸薬」（現在は販売中止）までさかのぼります。その後、ビフィズス菌・乳酸菌製剤「ヤクルトBL整腸薬」（1995年、2004年7月から医薬部外品）や便秘薬「アロエ便秘薬」（2012年）を販売しています。

(2) 医薬部外品

「ヤクルトBL整腸薬」は2004年から医薬部外品へと分類が変更され、ドラッグストア等で販売されています。また、口の中で溶かして服用するチュアブル錠として「ヤクルトBL整腸薬S錠」（2006年）も販売しています。

(3) 医療用医薬品

医療用酵素製剤などから始まったヤクルトの医療用医薬品は、1975年に発売された乳酸菌製剤「ビオラクチスカプセル」（販売中止、現在は1990年に発売された「ビオラクチス散」）を初めとしてヤクルトオリジナルの薬剤の他、後発医薬品も多く手がけてきました。その後、がんとその周辺領域に特化する施策により、抗がん剤の販売が主となっています。その中でも、「カンプト」と「エルプラット」はヤクルトの医薬品事業を支える柱となっています。

抗がん剤では、「カンプト」と「エルプラット」の他に『シスプラチン点滴静注「マルコ」』（1994年）、「オペプリム」（2002年）、『フルタミド錠125「KN」』（2003年）、『ゲムシタピン点滴静注用「ヤクルト」』（2010年）、『イマチニブ錠「ヤクルト」』（2013年）、『ドセタキセル点滴静注「ヤクルト」』（2015年）、『レトロゾール錠「ヤクルト」』（2015年）や、抗がん剤の作用を増強する活性型葉酸製剤『レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」』（2007年）を、またがん周辺領域の薬剤としては5-HT₃受容体拮抗型制吐剤「シンセロン錠8mg」（2004年）、遺伝子組換えヒトG-CSF誘導体「ノイアアップ注」（2010年）および骨吸収抑制剤『ゾレドロン酸「ヤクルト」』（2014年）を販売しています。その他、乳糖分解酵素製剤「オリザチーム顆粒」（1981年）や高カロリー輸液用微量元素製剤「ボルビックス注」（1999年）と「ボルビスール注」（2002年）も販売しています。

< 「カンプト」と「エルプラット」 >

「カンプト」（一般名：イリノテカン塩酸塩水和物）は、1983年に中央研究所で合成されたヤクルト最初の抗がん剤で、1994年1月に小細胞肺癌、非小細胞肺癌、子宮頸がん、卵巣がんの適応で製造承認を受け、同年4月に発売されました。

一方、「エルプラット」（一般名：オキサリプラチン）は海外から導入された白金錯体系の抗がん剤で、DNAに結合し、腫瘍細胞の増殖を抑制する働きを持っています。2005年3月に「エルプラット注射用100mg」として進行・再発の大腸がんの効能で輸入承認を受け、同年4月に発売しました（現在、剤型変更により販売終了）。

大腸がんの化学療法において「カンプト」を含む多剤併用のFOLFIRI療法、「エルプラット」を含むFOLFOX療法ならびにXELOX療法は、第一次・第二次治療として用いることにより、その投与順序に関係なく治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がんに対し20か月以上の生存期間が得られるようになりました。

現在、FOLFIRI療法ならびにFOLFOX療法を分子標的薬剤と併用することによって30か月以上の生存期間が得られるようになっており、いずれの治療も大腸がんに対する標準的治療として、世界中で広く用いられています。

「エルプラット」を含むFOLFOX療法は、2009年に結腸がんに対する術後補助化学療法（アジュバント療法）を、2018年に小腸がんに対する効能追加の承認をそれぞれ取得しました。特にアジュバント療法は大腸がんの根治が期待される治療であり、「エルプラット」は大腸がんの治療に貢献できる中心的な薬となっています。

また、2013年には、「カンプト」、「エルプラット」、「レボホリナート」等を併用するFOLFIRINOX療法が、治癒切除不能なすい臓がんに対する効能追加の承認を取得し、治療選択肢が少ないすい臓がんの患者さんに、新たな治療選択肢を提供できるようになりました。

さらに、「エルプラット」については、2015年3月に治癒切除不能な進行・再発胃がんに対する効能追加が、2015年11月には胃がんの術後補助化学療法に対する効能追加が承認されました（これらを合わせ、効能・効果は胃がんとなっています）。オキサリプラチンを含む治療法は、欧米の胃がん治療ガイドラインにおいて標準治療の一つに位置付けられています。日本で最も患者数の多いがんである胃がんにおいても、適正使用の推進に取り組み、患者さんや医療従事者に新たな治療選択肢を提供していきます。

<カンプトおよびエルプラットの承認ならびに効能追加等の状況>

年 月	カンプト	エルプラット
1994（平成6）年1月	小細胞肺癌、非小細胞肺癌、子宮頸がん、卵巣がんの適応で製造承認	
1994（平成6）年4月	「カンプト注」発売	
1995（平成7）年9月	胃がん、結腸・直腸がん、乳がん、皮膚有棘細胞がん、悪性リンパ腫の効能追加	
2005（平成17）年3月		「レボホリナート」「フルオロウラシル」の静脈内持続投与方法との併用において進行・再発の結腸・直腸がんの効能・効果として輸入承認
2005（平成17）年4月		「エルプラット注射用100mg」発売
2008（平成20）年3月	「カンプト点滴静注」へ販売名変更の承認	
2008（平成20）年6月	「カンプト点滴静注」発売	
2009（平成21）年1月		「エルプラット注射用50mg」発売
2009（平成21）年8月		結腸がんにおける術後補助化学療法（アジュバント療法）の効能追加
2009（平成21）年9月		進行・再発の結腸・直腸がんを効能・効果として、他の抗悪性腫瘍剤との併用における用法・用量の追加承認
2010（平成22）年8月		「エルプラット点滴静注液50mg」「エルプラット点滴静注液100mg」の製造販売承認（エルプラット注射用は販売終了）
2011（平成23）年11月		結腸がんにおける術後補助化学療法（アジュバント療法）を効能・効果として、他の抗悪性腫瘍剤との併用における用法・用量の追加承認
2012（平成24）年8月		「エルプラット点滴静注液200mg」の製造販売承認
2013（平成25）年3月	小児悪性固形腫瘍の効能追加（公知申請）	
2013（平成25）年12月	「カンプト」「エルプラット」「レボホリナート」等を併用するFOLFIRINOX療法にて、治癒切除不能な（未治療の）膵がんの効能追加	
2015（平成27）年3月		治癒切除不能な進行・再発胃がんに対する効能追加（公知申請）
2015（平成27）年11月		胃がんの術後補助化学療法に対する効能追加 なお、平成27年3月に承認された「治癒切除不能な進行・再発の胃がん」と合わせ効能・効果は「胃がん」となる
2018（平成30）年9月		小腸がんに対する効能追加（公知申請）

(4) その他

日用雑貨品として、ヨウ素と有機酸および植物由来成分であるシクロデキストリンを主成分としたウイルス・細菌除去、消臭スプレー「I (アイ) のチカラ」を2010年から発売しています。

(5) 医薬品の研究開発

医薬品開発研究分野においては、高齢社会の進展を踏まえ抗がん剤およびその周辺領域を中心に、研究開発を進めています。

既存医薬品については、「エルプラット」の進行再発胃がんの用法用量追加を目的とした比較第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

新薬パイプラインについては、がん細胞の増殖を抑える分子標的薬である「レスミノスタット」の胆道がんに対する第Ⅱ相臨床試験および皮膚T細胞リンパ腫に対する第Ⅱ相臨床試験を実施中です。また、悪性のB細胞とT細胞の成長と生存を支援する酵素を阻害する経口剤である「デュベリシブ」について、臨床試験に向けた準備を進めています。

<医薬品類・日用品一覧表>

分類	品名	主な効能・効果		
医療用医薬品	抗悪性腫瘍剤	エルプラット点滴静注液50mg、同100mg、同200mg カンプト点滴静注40mg、同100mg シスプラチン点滴静注10mg「マルコ」、同25mg、同50mg カペシタビン錠300mg「ヤクルト」	大腸がん、膵がん、胃がん 大腸がん、卵巣がん、胃がん 頭頸部がん、肺がん、胃がん 乳がん、大腸がん	
	抗悪性腫瘍剤（チロシンキナーゼ阻害剤）	イマチニブ錠100mg「ヤクルト」、同200mg	白血病	
	抗悪性腫瘍剤（上皮成長因子受容体（EGFR）チロシンキナーゼ阻害剤）	ゲフィチニブ錠250mg「ヤクルト」	肺がん	
	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤	ゲムシタピン点滴静注用200mg「ヤクルト」、同1g	膵がん	
	タキソイド系抗悪性腫瘍剤	ドセタキセル点滴静注20mg/1mL「ヤクルト」、同80mg/4mL	胃がん、前立腺がん	
	アロマターゼ阻害剤・閉経後乳癌治療剤	レトロゾール錠2.5mg「ヤクルト」	乳がん	
	副腎癌化学療法剤・副腎皮質ホルモン合成阻害剤	オパプリム	副腎がん	
	前立腺癌治療剤	フルタミド錠125「KN」	前立腺がん	
	骨吸収抑制剤	ゾレドロン酸点滴静注4mg/5mL「ヤクルト」 ゾレドロン酸点滴静注4mg/100mLバッグ「ヤクルト」	悪性腫瘍による骨病変	
	5-HT ₃ 受容体拮抗型制吐剤	シンセロン錠8mg	抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)	
	遺伝子組換えヒトG-CSF誘導体制剤	ノリアップ注25、同50、同100、同250	がん化学療法による好中球減少症	
	活性型薬酸製剤	レボホリナート点滴静注用25mg「ヤクルト」、同100mg	大腸がん、胃がん、フルオロウラシルの抗腫瘍効果の増強	
	乳酸菌製剤	ピオラクチス散	腸内菌叢の異常による諸症状の改善	
	高カロリー輸液用微量元素製剤	ボルビックス注 ボルビスール注	高カロリー静脈栄養の亜鉛、鉄、銅、マンガン及びヨウ素の補給 高カロリー静脈栄養の亜鉛、鉄、銅及びヨウ素の補給	
	乳糖分解酵素製剤	オリザチーム顆粒	乳糖不耐症	
	高度管理医療機器	血管内塞栓促進用補綴材	スフェレックス	転移性肝がん
	医療用医薬品原薬	抗腫瘍性植物成分	カンプト（イリノテカン塩酸塩）	-（製造用原料）
	一般用医薬品	便秘薬	アロエ便秘薬	便秘、便秘に伴う各症状
指定医薬部外品	ビフィズス菌・乳酸菌製剤	ヤクルトBL整腸薬 ヤクルトBL整腸薬S錠	整腸、腹部膨満感	
日用雑貨品	除菌・消臭剤	I (アイ) のチカラ	不快な臭いの除去	

<ヤクルト薬品工業(株)取扱い商品>

分	類	品 名
試 薬 ^{※1}	植物プロトプラスト調製	セルラーゼ“オノズカ”R-10、RS
	植物葉肉の単細胞化	マセロチームR-10
	動物細胞分離分散	コラゲナーゼヤクルト
	粗飼料消化率測定	セルラーゼ“オノズカ”FA 飼料分析用
	遺伝子操作	pHYマーカー
	ピフィズス菌数測定用	TOSプロピオン酸寒天培地
食 品 加 工 用 酵 素	野菜・果実・穀類加工	セルラーゼ“オノズカ”3S
		セルラーゼY-NC
	野菜・果実加工	マセロチームA
		マセレイティングエンザイムY
	果汁清澄	ペクチナーゼSS、HL
	醸造	ユニアーゼ2K、S、30、60F、BM-8 パンセラーゼBR
製菓・製パン	パンチダーゼP リリパーゼA-10D ユニアーゼL	
ガ ラ ク ト オ リ ゴ 糖	食品用 ^{※2}	オリゴメイト55N、55NP
		オリゴメイトS-HP (特定保健用食品)
	飼料用	飼料用ガラクトオリゴ糖
フ コ イ ダ ン	食品用	ヤクルトフコイダン
唐 辛 子	食品用	辛富士

※1 試薬用酵素等は、日本をはじめアメリカやヨーロッパなど世界各地で、バイオテクノロジーの研究分野（プロトプラストの調製・細胞融合・遺伝子操作など）において役立っています。

※2 「オリゴメイト」は、ガラクトオリゴ糖を主成分とし、ピフィズス菌と乳酸桿菌の増殖能力が強く、かつ低カロリー、難う蝕性、低甘味などの性質を兼ね備えた新しい食品素材です。

<医薬品売上高>

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期	
	実 績	前 年 比 (%)	実 績	前 年 比 (%)
カンプト (国内)	1,001	94.8	798	79.8
カンプト (海外)	195	73.3	240	122.7
カ ン プ ト 計	1,196	90.5	1,038	86.8
エ ル プ ラ ッ ト	16,131	87.5	13,083	81.1
ゲ ム シ タ ビ ン	2,999	98.8	2,552	85.1
そ の 他 医 薬 品	5,334	105.7	5,021	94.1
合 計	25,661	92.2	21,696	84.5

<MRの人数>

	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末
人 数	172名	167名	162名

9. 研究活動の概要

(1) 中央研究所の概要

①設立 1955（昭和30）年4月

②所長 石川文保

③所員 約300名

④研究内容

当研究所では、予防医学的見地から人の健康の維持・増進に役立つ食品・医薬品・化粧品素材の開発と利用の研究を行っています。

食品分野では、生体の高次の調節機構を維持・増進させる「機能をもった素材」の開発研究に力を入れています。

医薬品分野では、抗がん剤やその関連薬剤等の開発研究を、また、化粧品分野では皮膚科学に基づく安全性の高い有効な素材の開発研究を行っています。

これらの素材開発に必要な基盤となる微生物学・栄養学・生理学・免疫学・生化学・生物工学・有機化学・発酵工学・天然物化学・薬学・分析化学等の知識・技術の導入に積極的に取り組んでいます。

<最近の主な研究成果> ※主な研究成果については中央研究所HPをご覧ください。(https://institute.yakult.co.jp/)

発表年	研究成果
2004（平成16）年	<ul style="list-style-type: none"> ○γ-アミノ酪酸（GABA）を含有する発酵乳の血圧改善効果を正常高値血圧者で実証 ○ガラクトオリゴ糖によるヒト腸内ビフィズス菌の増加作用を、新規に確立したビフィズス菌解析法（多重染色FISH法）により実証 ○手術後の胆道がん患者へのシンバイオティクス投与（L. カゼイ・シロタ株およびB. プレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖）による腸内環境改善効果、手術後の感染性合併症予防効果を実証
2005（平成17）年	<ul style="list-style-type: none"> ○手術前のL. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料、ガラクトオリゴ糖を含むビフィズス菌発酵乳、ガラクトオリゴ糖の飲用は、胆道がん患者の手術前後における免疫機能を高め、手術後のシンバイオティクス投与による腸内環境改善効果、感染性合併症予防効果をさらに高めることを実証 ○ビフィズス菌発酵乳の飲用による潰瘍性大腸炎の治療効果を活動期の潰瘍性大腸炎患者で検証 ○硝化細菌を測定するキット「イムノラテックス スピラクン」を開発
2006（平成18）年	<ul style="list-style-type: none"> ○アヤムラサキ搾汁100%ジュースの肝機能改善効果を肝機能マーカーが高めの健常人で実証 ○B. ビフィダム YIT 10347を含む乳酸菌飲料によるピロリ菌の活性抑制効果、胃粘膜の炎症抑制効果、および胃の不定愁訴の改善効果を健常人で実証 ○B. ビフィダム・ヤクルト株ゲノムの全塩基配列を解読
2007（平成19）年	<ul style="list-style-type: none"> ○腸内細菌のDNAだけでなくRNAも解析対象とすることにより、これまでよりも格段に高い検出感度で腸内細菌を定量できる最新鋭腸内フローラ解析システム「YIF-SCAN[®]：Yakult Intestinal Flora SCAN」が完成 ○全身性炎症反応症候群（SIRS）患者へのシンバイオティクス投与（L. カゼイ・シロタ株およびB. プレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖）の適用による腸内環境改善効果、感染性合併症予防効果を実証
2008（平成20）年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の飲用により、潰瘍性大腸炎の症状が改善される可能性をパイロット試験で確認 ○「YIF-SCAN[®]」を用いて、乳児のビフィズス菌フローラの形成過程を解明 ○健常人の糞便から下痢などの有害作用を有するコハク酸を除去できる菌を含む、4つの新菌種の分離培養に成功し、国際機関に登録
2009（平成21）年	<ul style="list-style-type: none"> ○B. プレーベ・ヤクルト株の飲用による過敏性腸症候群患者の症状改善効果を実証 ○当社で開発した「TOSプロピオン酸寒天培地」に抗生物質ムピロシンを加えた培地が、ビフィズス菌数標準測定法の公定培地に採用 ○「YIF-SCAN[®]」を用いて、迅速かつ高感度に血液中の細菌を測定し、臨床診断に応用できることを実証
2010（平成22）年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の飲用による急性下痢症の発症予防効果をインド・コルカタ市の小児で実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、スポーツ選手の上気道感染症の発症を低減することを実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、ノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎に伴う発熱症状を軽減することを介護老人施設の高齢者で実証

発 表 年	研 究 成 果
2010 (平成22) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ガラクトオリゴ糖を含むB. ブレーベ・ヤクルト株発酵乳の継続的飲用が、季節性の肌の乾燥を抑制し、角層細胞形態を正常化することを健常女性で実証 ○低免疫状態にある化学療法中の小児悪性腫瘍患者へのB. ブレーベ・ヤクルト株の投与は、腸内環境を改善し感染に伴う発熱頻度を低減することを実証
2011 (平成23) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の飲用による便性状改善効果をベルギーの健常成人で実証 ○前立腺がんの予防効果が期待されているエコールを作り出す腸内細菌を発見し、日本の成人での検出率、エコール産生に関わる酵素を解明 ○新生児のビフィズス菌は、妊娠中の母親の腸内から伝播することを世界で初めて証明 ○硬変肝切除手術患者に対するシンバイオティクス投与(L. カゼイ・シロタ株およびB. ブレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖)が、肝切除後の腸管機能の低下および感染性合併症の発症抑制に有効であることを実証
2012 (平成24) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○シンバイオティクス投与(L. カゼイ・シロタ株およびB. ブレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖)が、肺炎等の院内感染を引き起こす緑膿菌の数を減少させることを長期人工呼吸器患者で実証 ○「YIF-SCAN®」による抗菌薬関連下痢症原因菌を高感度かつ高精度に定量する方法を開発し、健常成人の腸内に同原因菌が常在することを確認 ○新生児の腸内に定着するビフィズス菌および乳酸桿菌が、母乳ではなく母親の腸内および産道内から伝播することを解明 ○乳酸菌飲料に含まれるL. カゼイ・シロタ株が生きのまま腸内に到達することを、日本人とは生活習慣の異なるタイの健常成人で実証 ○乳児のビフィズス菌優勢フローラ形成には、分娩様式や栄養などが影響していることを確認
2013 (平成25) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株の習慣的摂取による乳がん発症リスクの低減を疫学研究で実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の飲用が、胃切除手術後の後遺症である便秘異常の改善に役立つことを実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の飲用による肝機能改善効果をアルコール性肝硬変患者で実証 ○分娩様式の違いは新生児腸内へのビフィズス菌の定着に影響を与えることを解明 ○L. カゼイ・シロタ株やB. ブレーベ・ヤクルト株の代謝物である短鎖脂肪酸が腸管上皮細胞の増殖に影響を及ぼしていることを解明
2014 (平成26) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○日本人2型糖尿病患者の腸内フローラの乱れを検証し、腸内環境の改善が疾病の治療に役立つ可能性を確認 ○「YIF-SCAN®」を用いて、当社プロバイオティクスを摂取する機会の多いヤクルトレディの腸内環境が良好であることを実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の飲用が、出産後間もない産褥期の女性の便秘症状および痔の発症を軽減することを実証 ○B. ビフィダム YIT 10347を含む乳酸菌飲料の飲用が、機能性消化管障害患者の消化器症状および心理症状を改善し、一般成人の胃の不快症状を改善することを確認
2015 (平成27) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. プランタルム YIT 0132 発酵果汁の飲用が、アトピー性皮膚炎患者の症状改善およびQOL向上に役立ち、アレルギー性疾患に関わる免疫指標を改善することを確認 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続的飲用が、健常小児の腸内フローラや腸内環境を改善し、健康の維持・増進に役立つ可能性を確認
2016 (平成28) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○乳児期のビフィズス菌優勢の腸内フローラ形成に関わる、ビフィズス菌の母乳オリゴ糖の利用性と共生機構を分子レベルで解明 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳製品の習慣的摂取が、高齢者の高血圧発症リスクの低下につながる可能性を実証 ○B. ブレーベ・ヤクルト株の継続的摂取が、小児の外科手術に伴う周術期感染症の発症を抑え、腸内フローラや腸内環境の乱れおよび菌血症を改善することを確認 ○ガラクトオリゴ糖の継続的摂取が、育児粉乳で哺育される乳児の便中ビフィズス菌を増加させ、腸内フローラが母乳栄養児型へ変化することを確認 ○L. プランタルム YIT 0132 発酵果汁の飲用が、通年性アレルギー性鼻炎患者の症状改善およびQOL向上に役立つことを確認 ○大うつ病性障害患者と健常者との比較により、腸内有用菌が少ないと、うつ病リスクが高まる可能性を実証
2017 (平成29) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続的飲用は、慢性炎症の原因となる腸内細菌の血中への移行(バクテリアルトランスロケーション)を抑制することを2型糖尿病患者で実証 ○術前化学療法中のシンバイオティクス(L. カゼイ・シロタ株およびB. ブレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖)投与は、腸内環境を改善し、化学療法による重篤な有害事象の軽減に有用であることを胸部食道がん患者で実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む発酵豆乳飲料の継続的飲用は、肌性状および腸内フローラの改善に寄与する可能性を閉経前の健常女性で確認 ○ガラクトオリゴ糖の飲用は、低下したビフィズス菌の占有率を回復し、2型糖尿病の改善に役立つ可能性を確認

発 表 年	研 究 成 果
2018 (平成30) 年	<p>○宇宙環境（国際宇宙ステーション）で約1か月間保管したL. カゼイ・シロタ株の凍結乾燥粉末を含むカプセルは、地上で保管した対照品と同等の機能が維持されることを確認</p> <p>○B. ビフィダム YIT 10347を含む乳酸菌飲料の継続的な摂取は、健常成人における食後の不快症状や胃痛などを含む消化管症状を緩和することを確認</p> <p>○シンバイオティクス（L. カゼイ・シロタ株およびB. プレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖）の投与は、集中治療室で人工呼吸器管理下にある敗血症患者の腸内フローラバランスおよび腸内環境を改善し、患者の予後の改善に役立つことを確認</p>

<宇宙における JAXA との共同研究>

当社と国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、国際宇宙ステーション（ISS）を利用した共同研究を、2014年4月から開始することに合意しました。これは、ISSに長期滞在する宇宙飛行士を対象に、プロバイオティクス（L. カゼイ・シロタ株）の継続摂取による免疫機能および腸内環境に及ぼす効果の科学的検証を目標とするものです。この研究成果を来べき宇宙探査時代における宇宙飛行士の健康維持や、宇宙環境におけるプロバイオティクスの効果に関する研究の更なる発展につなげることを目指します。

2014年度～2015年度にかけて行った地上研究、および、2016年度に行ったプロバイオティクス（L. カゼイ・シロタ株）を含む長期常温保管可能なカプセルのISS搭載影響評価実験により、地上の常温保管と同程度の生菌数を維持できることを確認する等、宇宙実験に向けた準備を進めた結果、世界に先駆けてISSにてプロバイオティクスの宇宙飛行士による継続摂取実験を行うことが可能となりました。

2017年度からはISSに長期滞在する宇宙飛行士がプロバイオティクスを継続摂取し、宇宙環境での免疫機能および腸内環境に及ぼす効果を科学的に検証する、世界初の宇宙実験を開始しました。

⑤組 織

<事務部>

研究所運営上の事務全般・施設管理全般、および食堂の運営管理に関する業務を行っています。

<研究管理センター>

研究戦略を策定し、国内外の学術活動の調整・推進を行っています。また、研究所における効率のかつ生産性の高い研究活動の実施環境を整え、その推進を支援し、研究広報戦略に基づき所外他部署と連携して営業活動の学術面からの支援を行っています。

<信頼性保証室>

研究所における各種基準適合性確認への対応、ならびに試験・研究業務・研究データの信頼性保証に関する業務を行っています。

<基盤研究所>

腸内フローラと健康の関わりを研究し、健腸長寿の概念を科学的に立証して、当社製品の科学的根拠ならびに予防医学における価値を明らかにする業務を行っています。

<微生物研究所>

製造用菌株の種菌製造・育種および発酵技術の開発を行っています。有用微生物の収集と機能解析を行い、製品開発への応用を目指した新たな生理機能を有する微生物の発掘を行っています。

<安全性研究所>

食品・医薬品・化粧品の開発に関わる安全性試験研究の実施、ならびに基礎研究および食品・医薬品・化粧品の開発研究に関わるサポートとバックアップを行っています。

<食品研究所>

基礎研究の成果や当社独自の研究資産を利用するとともに、新規素材の探索、有効性や栄養機能の評価、生物工学的技術の応用を通して、健康やQOL向上に寄与できる付加価値の高い新規機能性食品の開発研究を行っています。

<医薬品研究所>

当社独自のがんに関する理論に基づき、付加価値の高い新規医薬品を創薬するとともに、幅広く導入医薬品候補の評価を行っています。

<化粧品研究所>

皮膚科学の基盤研究と発酵技術に基づき、有用な皮膚生理活性物質を探索しています。有効性の検証や乳化系への配合等の技術的研究を通して、新規化粧品の開発研究を行っています。

<分析試験研究所>

研究開発の基盤となる各種分析技術の開発研究と、これを利用した食品の安全性の確認・保証、ならびに各種微生物の解析等の研究、環境状況の分析、水処理システムの関連業務を行っています。

(2) 非営利法人ヤクルト本社ヨーロッパ研究所の概要

- ① 設 立 2005（平成17）年5月
- ② 所 長 澤 田 治 司
- ③ 所 在 地 ベルギー・アントワープ市テクノロジーパーク内バイオインキュベーター
- ④ 研究内容

海外での治験データ収集やヨーロッパの人々に対するプロバイオティクスの有効性を検証し、腸内フローラや腸管機能に対する有用性について研究しています。

10. ヤクルトのCSR

当社は「私たちヤクルトグループは、企業理念に基づいた企業活動を通じて、グループを取り巻くすべてのステークホルダーから信頼されるよう努力し、共生していきます。」という「CSR基本方針」を掲げるとともに、CSRのグローバルスタンダードであるISO26000に則した「CSR行動計画」を策定しています。これらの方針・計画に沿って、国内ヤクルトグループ約140社では、地域社会活動や健康情報の提供・発信、科学技術の振興、環境保全活動さらには健康経営等のCSR（企業の社会的責任）活動を行っています。

また、グローバルな動きとして環境・社会・ガバナンスといった非財務情報に着目する「ESG投資」への対応や、国連で採択された「SDGs」（持続可能な開発目標）について、活動体系に組み込み、CSRとして取り組むこととしています。広報室CSR推進室では、これらの活動の詳細について、ヤクルトCSRレポート（2014年度発行分までは社会環境レポート）に掲載し公表しています。

(1) 地域社会活動

名 称	内 容
愛の訪問活動 ・契約自治体数 127か所 ・対象高齢者数 37,985人 ・実施販売会社数 53社 ・実施ヤクルトレディ数 2,827人 （2019年3月末日現在）	ヤクルトレディがヤクルト商品をお届けしながら一人暮らしの高齢者の安否を確認したり、話し相手になるという活動を、1972年から行っています。これは、福島県郡山市のヤクルトレディが自分の担当する地域の中で、一人暮らしの高齢者が誰にも看取られずに亡くなった話に心を痛め、一人暮らしの高齢者に自費でヤクルトを配るという自発的な行為から始まりました。 この活動に販売会社および民生委員等が共鳴し、さらに自治体をも動かして、全国に活動の輪が広がっていきました。「愛の訪問活動」は、普段、誰ともあまり会話を交わすことのない高齢者たちを励まし、高齢者たちにとって大きな支えとなっています。 また、この活動はボランティア関係者、行政の福祉担当者からも非常に高い評価を受け、1991年には、(財)経済広報センターより「優秀企業広報特別賞」を、1994年には、ボランティア功労者として「厚生大臣表彰」を受賞しています。
ヤクルトレディによる地域の見守り・防犯協力活動 ・提携先 878か所 ・実施販売会社数 103社 ・実施センター数 1,990か所 ・実施ヤクルトレディ数 26,081人 （2019年3月末日現在）	担当地域に毎日商品をお届けしているヤクルトレディは、担当地域をくまなく訪問することから、各地の自治体、警察、消防などと連携して、地域の見守り、安全・安心へのお手伝いをしています。お届け時の高齢者の見守りや、お届け資材に防犯ステッカー等を貼付して、各エリアを回るヤクルトレディによるこの活動は、地元の方の安否確認のみならず、地域における防犯や防災等にもつながり、提携自治体等は年々拡大し、地域との深い絆を築いています。
出前授業 ・実施回数 約4,000回 ・受講者数 約29万人 <海外> ・実施回数 約41,000回 ・受講者数 約316万人 （2018年度実績）	主に小学生を対象に、学校等に出向いて「早ね、早おき、朝ごはん、朝うんち」をテーマに、出前授業を実施しています。健康のために、正しい食生活・生活習慣を身につけてもらうことを目指し、食べ物の栄養分を吸収する腸の大切さや、腸内細菌の働きを解説し、よいうんちを出すための生活習慣についてわかりやすくお伝えしています。 ヤクルトの出前授業は2014年度「青少年の体験活動推進企業表彰」（主催：文部科学省）において審査委員会奨励賞を受賞しました。
健康教室 ・実施回数 全国約12,500回 ・受講者数 全国約37万人 <海外> ・実施回数 約120,700回 ・受講者数 約656万人 （2018年度実績）	主にご高齢の方等を対象に、公共施設や老健施設、センター等を利用して、腸の大切さやプロバイオティクス、季節に流行する疾患等幅広いテーマで健康教室を開催しています。
東京ヤクルトスワローズ野球教室 ・開催会場数 10か所 ・参加者数 1,014人 （2018年度実績）	プロ野球選手との交流をとおして正しい練習法や技術の習得、運動の楽しさ、健康のすばらしさを知ってもらおうと1976年から始めています。 例年11月の土・日曜、祝日に全国各地で中学生までの少年野球チームを対象に行っています。

名 称	内 容
バウンドテニスの普及に協力 および協賛	競技スポーツとしても楽しめる、生涯スポーツ「バウンドテニス」の普及に協力しています。全日本選手権大会、シニア対象のゴールド大会、全国9ブロックの選手権大会・親善交流大会、47の都道府県大会に協賛しています。その他、指導者研修会の開催などにも協力しています。
工場見学 ・見学受入工場数 13工場 ・見学者数 約28万人 (2018年度実績) <海外> ・見学者数 約56万人 (2018年1～12月実績)	工場見学を通じて、ヤクルトグループの企業姿勢やヤクルト商品を知っていただきます。 Newヤクルトやジョア、ミルミルなどの乳製品、化粧品の製造工程の見学やビデオ上映、試飲などが楽しめます。 また、小学生の社会科見学にも活用されています。
工場祭 ・開催工場数 11工場 ・参加者数 約2.4万人 (2018年度実績)	地域住民および社員の家族を招き、工場と地域社会との親睦を深めることを目的としています。 工場見学、試飲、模擬店、近隣の中高生による演奏等の催し物を通じて、地域住民との交流を図っています。

(2) 健康情報の提供・発信

①刊行物

名 称	内 容
ヘルシスト	「生命科学」や「健康」をテーマとした情報誌。1976年創刊。2011年から年1回英語版も発行。 隔月刊、発行部数約54,000部。
サイエンスレポート	<ul style="list-style-type: none"> ・プロバイオティクスの医療現場での応用 ・プロバイオティクスによる免疫調節作用 ・胃の健康とプロバイオティクス ・感染性胃腸炎に伴う発熱に対するプロバイオティクスの軽減効果 ・ビフィズス菌の働きと新たな可能性 ・シンバイオティクス療法の広がり ・小児急性下痢症に対するプロバイオティクスの予防効果 ・スポーツ選手の上気道感染症の予防に対するプロバイオティクスの飲用効果 ・ビフィズス菌による潰瘍性大腸炎の軽減効果 ・高齢者向け施設入所者の健康管理における乳酸菌飲用の意義 ・便秘傾向の健常成人（60歳以上）を対象としたビフィズス菌発酵乳の飲用効果 ・ビフィズス菌発酵乳飲用による腸内環境改善を介した皮膚性状改善効果 ・胃がん手術後の便秘異常における乳酸菌 シロタ株の関わり ・便が硬めな人を対象とした乳酸菌 シロタ株の飲用効果 ・ガラクトオリゴ糖とその機能性 ・ディフィシル菌による抗菌薬関連下痢症の再発に対する乳酸菌 シロタ株の効果 ・発酵乳製品の継続摂取による高齢者向け施設入所者の排便状況の改善 ・高齢者の消化器外科手術後の感染性合併症に対する術前からのシンバイオティクス療法の有用性 ・高齢者施設入所者の感染症リスク低減における乳酸菌飲料の飲用効果 ・高齢者の上気道感染症発症リスク低減におけるプロバイオティクスの可能性 ・高齢者の高血圧症発症リスクに対するL. カゼイ・シロタ株を含む発酵乳製品の習慣的摂取の影響 ・乳酸菌発酵果汁飲料の継続飲用によるアレルギー症状の軽減 ・グァバ葉ポリフェノール茶飲料の食後高血糖抑制作用と安全性 ・世界に広がるL. カゼイ・シロタ株の有効性評価 ・シンバイオティクス療法の最前線一周術期での感染防御を中心として一

②視聴覚資料

名 称	内 容
ヤクルト健康 ビデオライブラリー	健康に関するビデオを各支店に常備し、地域で行われる講演会や研修会の視聴覚教材として貸し出しています。

<ヤクルト制作の主なビデオ>

名 称	内 容
腸内フローラ — その神秘なる世界 —	「腸内フローラ」の神秘、そして健康との関わりについて異なる分野の5名の専門家がそれぞれの立場から解説。併せて乳酸菌やビフィズス菌の摂取が健康な生活を送るために大切であることを紹介。13分。 (2013年)
ビフィズス菌 — 愛にあふれたプレゼント —	ビフィズス菌の神秘と大切さをホームドラマ形式で紹介。赤ちゃんから高齢者まで生涯にわたってビフィズス菌が健康をサポートすることを解説。17分。 (2014年)
科学する — 新たなるヤクルト中央研究所の 旅立ち —	ヤクルトのサイエンスへの熱き想いを伝えるとともに、その想いを具現化するヤクルト中央研究所の新たな研究施設の拡充と、研究体制の強化などを紹介。8分。 (2016年)
いま、シンバイオティクスと — 科学するヤクルト —	研究所から発信された成果の一つとして、シンバイオティクスを取り上げ、その有用性について解説。併せて、ヤクルト独自の腸内フローラ解析システム「YIF-SCAN®」についても紹介。14分。 (2017年)
ヤクルト この一本に込められた想い	ヤクルトの創始者である医学博士・代田 稔の想いとヤクルト誕生ストーリー、そして乳酸菌 シロタ株の保健効果、さらに「代田イズム」が受け継がれるヤクルト企業の「今」を、研究開発、製造、お届けの三つの側面から紹介。14分。 (2017年)
が ん ば れ ! ヤクルトマン GO!GO! お な か 大 冒 険	食育や腸の仕組みを盛り込みながら、乳酸菌・ビフィズス菌の働きや微生物の世界を楽しくわかりやすく学べるアニメビデオ。「ヤクルトマン」「乳酸菌シロタ株マン」「ビフィズス菌 BY株マン」がおなかの中で大活躍。16分。 (2017年)
腸 内 ぷ り ぷ り 問 答	日本の伝統芸能である落語を用いて、人と腸内細菌との共生関係を軸に腸内フローラと健康との関わりや、良好な腸内フローラを維持するためには規則正しい食生活が欠かせないことなどを解説。14分。 (2018年)

(3) 科学技術の振興

名 称	内 容
乳 酸 菌 研 究 会	1968年から1981年にかけて、腸内微生物に関する研究に従事している先生方が組織した「乳酸菌研究会」の趣旨に賛同し、以後、この研究会を支援すると共に、毎年大学をはじめとする研究機関の会員（95名：2018年度）へ研究協力しています。 全国8地区（北海道、東北、中部、東海、北陸、近畿、中四国、九州）の研究会の運営は、各地区の会員から互選された会長を中心に自主運営されており、年1回、総会・研究発表会を行い交流を図っています。
JAXA（宇宙航空研究開発機構） との共同研究	宇宙飛行士を対象に乳酸菌 シロタ株の継続摂取が腸内環境および免疫機能におよぼす効果の科学的検証を目的として、国際宇宙航空ステーション（ISS）を利用した共同研究を2014年4月から開始しています。
総合科学雑誌「ネイチャー」 とのタイアップ	2016年7月発行号綴り込み特集「インサイト」において、「マイクロビオータ（細菌叢）」に関し、当社の研究成果を紹介した小論文が掲載されました。 2016年度の中央研究所オープニングカンファレンスにて「ネイチャーカフェ」（基調講演、パネルディスカッション）を開催、2017年度もロンドンにてネイチャーカフェを開催し、プロバイオティクスの有効性等を発信しています。2018年からは、パートナーシップ契約を締結し、「マイクロビオータ」や「プロバイオティクス」分野研究の発展を目的として、共同で研究助成プログラムをスタートしています。

(4) 環境保全活動

近年の主な動き

年	内 容
1991 (平成3) 年	○環境対策を担当する組織として「環境対策委員会」および「環境対策室」を設置
1994 (平成6) 年	○グループ全体を対象とした環境キャンペーン (2015年よりCSRキャンペーン) を実施 (以降毎年実施)
1997 (平成9) 年	○「ヤクルト環境基本方針」を制定 地球環境の保全を「社会と共生する経営」の再重要課題の一つに位置付け、環境負荷低減に多角的に取り組むことを宣言
1999 (平成11) 年	○環境マネジメントシステムの構築に取り組み、京都工場が国際認証規格であるISO14001を取得。以降順次、中央研究所分析試験研究所や本社全工場をはじめ、グループの生産部門のある事業所でISO14001の認証取得 ○「グリーン購入ガイドライン」を策定
2000 (平成12) 年	○「ヤクルト本社環境行動計画第一期計画」を策定 3年間を一期間とする環境行動の計画を策定し、P D C Aを実施 (2018年現在、第六期計画の3年目) ○環境年次報告書「ヤクルト環境レポート」の制作・公表を開始 ○環境対策組織をグループ企業全社に拡大
2005 (平成17) 年	○販売会社におけるISO14001の認証取得に対する支援活動を開始
2006 (平成18) 年	○「人も地球も健康に」をコーポレートスローガンとして掲げ、地球環境問題への対応をより明確に公知
2012 (平成24) 年	○長期エコビジョン「ヤクルト サステナブル・エコロジー2020」を策定 将来のエコビジョンとして、ヤクルトグループ全体として「低炭素社会の実現」「資源の有効活用」「生物多様性の保全と活用」に取り組み、ステークホルダーとの共生を図りながら、持続可能な社会の形成を目指すことを宣言 ○環境省推奨「グリーンウェイブ2012」に参加 (以降毎年参加)

(5) 健康経営

当社では社員の「健康」に関する会社の考え方・方針として、2017年に以下の「健康宣言」を打ち出しています。

健康宣言

ヤクルトは“人々の健康に貢献する”という理念の実現には従業員の健康が不可欠であるとの認識に立ち、従業員の心身の健康保持・増進および安全・安心な職場環境づくりに努めます。

また、2019年2月には、従業員の健康への経営的な取り組みが評価され、「健康経営優良法人～ホワイト500～」に2年連続で認定されました。

11. お客さま相談センター

当社では、1990年6月からお客さまや外部の方々のご質問やご相談にお答えする窓口として「お客さま相談センター」を開設し、あわせてフリーダイヤル (料金着信払い) を導入しています。

当センターでは、電話・メール・手紙等で寄せられるご質問などにお答えする一方、そのご意見を社業に反映させ、つねに品質の良い商品と真心こめたサービスをお届けするよう努めています。

●お客さま相談センターのフリーダイヤル番号 (全国共通)

☎ 0 1 2 0 - 1 1 - 8 9 6 0 ^{イ イ ヤ ク ル ト} 受付時間 9 : 00 ~ 17 : 30 (土・日・祝日・夏季休業・年末年始を除く)

●当社 (本店) の電話番号・URL

大 代 表 TEL 0 3 (3 5 7 4) 8 9 6 0 ^{ヤ ク ル ト}
ホームページアドレス URL <https://www.yakult.co.jp>

人も地球も健康に
Yakult



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。

発行 株式会社ヤクルト本社 広報室
〒105-8660 東京都港区東新橋1-1-19
TEL 03(3574)8920